

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
1	〔菅茶山書状草稿〕	寛政元酉九月六日	25.2×37.1	1通	
2	〔菅茶山書状〕(水戸行など江戸近況)	(文化元年)六月八日	13.9×22.8	1通	
3	〔菅茶山書状〕(江戸近況「水戸より無事二帰申候」)	(文化元年)六月十七日	17.8×31.0	1通	
4	〔菅茶山書状〕(江戸近況報告)	文化元年九月十八日	16.2×30.5	1通	
5	〔菅茶山書状〕(江戸近況報告)	(文化十一年)八月十五日	15.8×10.7	1通	
6	〔菅茶山書状〕(江戸近況報告)	(文化十一年)八月式七日	14.8×31.0	1通	
7	〔菅茶山書状〕(太田全斎に綿入れ・紋付など貰う月見の酒宴に出席)	文化十一年十月十五日	16.1×21.2	1通	
8	〔菅茶山書状〕(江戸近況報告)	(文化十一年)十一月廿一日	14.5×43.1	1通	
9	〔菅茶山書状〕(江戸近況報告)	(文化十一年十一月)	15.9×41.8	1通	封上書「おのふさま殿 正三郎様」
10	〔菅茶山書状断簡〕(柴野栗山墓表の異論について)	(文化十二年)二月廿四日	16.6×23.1	1通	前欠
11	〔菅茶山書状〕(風俗御問状につき質問箇条書き)	(文政元年)四月朔日	15.5×74.4	1通	
12	〔菅茶山書状〕(堯佐離縁の決意の固さと世間の誤解につき)	(文政十年)	16.5×30.5	1通	
13	〔菅茶山書状〕(朱印・朱肉購入につき)	二月七日	16.9×30.1	1通	
14	〔菅茶山書状〕(中山言倫のこと)	三月五日	16.5×21.1	1通	色摺紙

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
15	〔菅茶山書状断簡〕(家系についての意見)	三月七日	15.8×90.0	1通	
16	〔菅茶山書状〕(「夕陽黄葉村舎」滞留の節について弟を迎えに遣わずにつき)	(寛政四年)四月六日	15.4×129.3	1通	
17	〔菅茶山書状〕	四月廿五日	16.2×59.5	1通	
18	〔菅茶山書状〕(遺書の書き直し, 体調不良につき)	六月五日	16.1×62.7	1通	
19	〔菅茶山書状〕(江戸近況内田玄郁来訪, 六日伊沢蘭軒見舞う)	六月十日	14.9×25.6	1通	札紙2枚附属1)15.0×4.6, 2)15.0×4.2, 封紙「おのふさま 用事 太中」(24.4×16.5)
20	〔菅茶山書状〕	六月廿二日	17.7×26.2	1通	
21	〔菅茶山書状〕(北條江戸滞留中伊勢参り等近況及び留守中家内注意)	七月十一日	15.0×33.8	1通	封紙「おのふさま 内用事 太中」(24.2×13.4), 札紙2通附属, 1)14.4×4.8正月詠み初めのこと, 2)4.4×15.0
22	〔菅茶山書状〕	七月十二日	16.1×11.2	1通	
23	〔菅茶山書状下書〕(来年の石川丈山百五十年忌にあたり詩作を募るにつき)	八月八日	16.0×42.4	1通	
24	〔菅茶山書状〕(留守宅への注意につき)	八月十二日	16.7×24.5	1通	封上書「おのふさま 御返事 太中」
25	〔菅茶山書状〕	(文政三年)八月廿三日	16.4×22.1	1通	
26	〔菅茶山書状〕	八月廿七日	16.2×17.3	1通	
27	〔菅茶山書状〕(浅右衛門病気に付看病を勧めるにつき)	八月卅日	16.5×84.1	1通	
28	〔菅茶山書状下書〕(江戸での書物に関する入銀の問題について)	丙十月廿日	24.8×34.5	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
29	〔菅茶山書状断簡〕(菅三も昨日一宮社へ参り候につき)	十月廿八日	15.7×42.8	1通	
30	〔菅茶山書状下書〕	十一月十日	16.0×32.4	1通	
31	〔菅茶山書状下書〕(「久佐川一件」済まざるにつき)	十二月十一日	16.7×34.9	1通	
32	〔菅茶山書状〕(久太郎の京・大坂での風評について)		15.0×88.5	1通	
33	〔菅茶山書状〕(漢文批正依頼)		15.6×16.5	1通	漢文
34	〔菅茶山添状〕(二十四字書の構成と表装について)		16.0×12.1	1通	
35	〔菅茶山書状〕(与市の飯料に対する異議につき)		16.5×40.3	1通	
36	〔菅茶山書状〕(菅三世話の事)		15.0×29.2	1通	
37	〔菅茶山書状〕(入用三十両の内二十両は京上屋に預けて使用につき)		16.8×24.0	1通	
38	〔菅茶山添書〕(岩九郎捕らえるに付、吉十郎を見舞に遣した折の様子につき)		17.5×12.9	1通	
39	〔菅茶山添状〕(池田平六よりの届物が着いたかの確認)		15.6×13.7	1通	
40	〔菅茶山書状断簡〕(菅三と自分の近況につき)		16.0×20.9	1通	
41	〔菅茶山添状〕(箱田村園右衛門の事)		16.2×16.2	1通	
42	〔菅茶山書状〕(行路難儀の様子につき)		16.1×22.6	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
43	〔菅茶山添書〕(熊坂助作へ送る二詩につき)		16.2×21.4	1通	
44	〔菅茶山書状〕(天王寺小僧東行時に画帖への揮毫をもとめるにつき, 玉島次郎吉十飯料不払の事にほかつき)		16.7×39.2	1通	
45	〔菅茶山書状〕(江戸詰福山藩士の事情につき)		16.5×40.0	1通	
46	〔菅茶山書状〕(東行の際の勇司の事)		16.0×39.6	1通	
47	〔菅茶山書状下書〕(巻物に糊貼宝袋のため示した銘の写し取りを依頼)		16.1×44.5	1通	
48	〔菅茶山書状〕(蠣崎波響に対して絵絹への書画依頼「残置候八点之分二而候無程可相達候」(波響))		16.0×13.5	1通	
49	〔菅茶山添状〕(頼山陽前妻の事)		14.9×15.6	1通	
50	〔菅茶山書状〕(竹原まで運ぶ箱の中身について)		15.8×39.2	1通	
51	〔菅茶山書状〕(時候挨拶)	十七日	15.8×17.9	1通	
52	〔菅茶山書付〕		16.0×34.1	1括	
53	〔菅茶山書状〕請納用(表装依頼)		15.1×27.2	1通	
54	〔菅茶山書付〕(色摺紙学校釈菜に関する文書など貸し出しにつき)		16.6×20.3	1通	色摺紙
55	〔菅茶山書状断簡〕(筑前岡部千太夫東行の事)		15.6×22.7	1通	後欠

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
56	〔菅茶山書状断簡〕		17.0×9.8	1通	前後欠
57	〔菅茶山書状〕(塾取立てにつき)		16.7×245.1	1通	
58	追啓(菅茶山書状下書, 頼山陽出奔について)		15.9×127.0	1通	墨書付紙二箇所, 端裏書「子成事」
59	〔菅茶山添状〕(家中の問題について)		16.1×20.3	1通	
60	〔菅茶山書状下書〕(「北條今度一件」の取計につき)		16.8×12.1	1通	
61	〔菅波橋平書状断簡〕(俳句批正依頼)	二月廿日	16.9×43.1	1通	
62	〔菅恥庵書状〕(年賀, 近々間ノ町二条上ル所に移居するにつき)	正月十四日	15.3×43.8	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括, 草花文唐紙表紙, 竹渋紙巻軸, 表紙朱書「十六」, 見返に朱文方印「神辺駅間塾記」1顆あり
63	〔菅恥庵書状〕(頼春水と皆川淇園との上方での舟遊びなど近況報告)	二月廿三日	13.5×123.7	1通	
64	〔菅恥庵書状〕(頼春水朱書批正京画, 画帳について)	三月望日	14.9×75.1	1通	
65	〔菅恥庵書状〕(蠣崎波響帰国の事等々書き送り, 他に小寺清先, 近藤重蔵, 三浦東白などの記述, )	孟夏十日夜	15.6×44.5	1通	
66	〔菅恥庵書状〕(調べた典籍の内容に関する報告)	五月十一日	13.6×72.2	1通	
67	〔菅恥庵書状〕(大和廻にて入京, 愛宕火事にて見舞, 赤壁の御作, 青苗新版函などのことにつき)	後孟夏初一	18.0×55.4	1通	
68	〔菅恥庵書状〕(在京中の蠣崎, 小野等諸事見聞書き送り, )	六月初四	13.7×94.7	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
69	〔菅恥庵書状〕(殊の外奇痰生来難儀, 暫時帰省それのみ楽しみ)	七月十八日	13.6×66.7	1通	封上書「太中様用書 圭二」
70	〔菅恥庵書状〕(私書入の左伝下すべき旨依頼)	孟秋十八日	13.6×35.0	1通	
71	〔菅恥庵書状〕(桑名から大井川(荒井駅)までの道中報告, 遠州荒井に而府内御家中長井保二郎と同宿等)	九月三日	24.8×33.5	1通	2紙
72	〔菅恥庵書状断簡〕(典籍・絵画の購入, 筆写の状況報告)	十月廿六日	14.2×58.6	1通	前欠, 付箋「菅圭二」一紙あり
73	〔菅恥庵書状〕(長崎表にて菅恵二焦心煩悶不快, ゆかしま泉屋手船の長崎回漕の件など)	十二月廿四日	27.9×40.3	1通	封紙(26.9×33.7)あり, 上書「備後神辺駅 菅太中様 大急要用書 菅圭二/十二月廿四日於長崎」
74	〔菅恥庵書状〕(長崎表にて風邪高熱の容体報告)		12.5×27.7	1通	
75	〔菅恥庵書状〕(九州からの連絡)		13.9×32.6	1通	
76	〔菅万年書状〕(鞆津に着いた船に荷が無いので, 福山音羽屋へ送るにつき)	五月十八日	18.0×66.2	1通	
77	〔菅万年書状〕(銀子不足につき米売買のこと)	十二月十九日	14.2×30.9	1通	
78	〔福井新九郎カ晋書状〕(京都の二月の天候につき)		15.6×31.1	1通	
79	〔箕浦東伯カ書状〕(明日帰国につき詩文批評の礼状)	九月二十四日	15.6×32.6	1通	
80	〔はいや尽衛門書状〕(近況報告, 共通の知人の情報や虫の育て方等につき)	五月六日	33.2×44.4	1通	
81	〔はすや書状〕	□月廿五日	18.2×23.6	1通	銀細葉をちらした料紙

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
82	〔北條霞亭母書状〕(北條霞亭死去につき)	三月十九日	17.4×108.4	1通	(端裏書)「霞亭の未亡人へアテ 北條霞亭の母上候」
83	〔りえ書状〕(時候挨拶)	九月廿日	15.2×62.1	1通	
84	〔阿部主計頭書状〕(御枉願日程調整につき)	孟春十日	19.0×47.4	1通	竹紙, 封紙(27.8×17.2)あり, 同上書「直書」, (端裏表)直書 (端裏)阿部主計頭 〆明午後迄二請貴会
85	〔阿世良山書状〕(相願候扁額速やかに御押豪下されるにつき礼状)	九月晦日	17.5×62.7	1通	竹紙
86	〔伊藤竹坡書状〕(孝経一部御拝領の儀につき御礼)	二月十七日	15.2×44.0	1通	
87	〔伊藤竹坡書状〕(別紙の通りにつき)	六月廿二日	15.0×41.1	1通	
88	〔伊藤竹坡書状〕(石原様女子誕生名付けにつき周知)	七月十七日	15.7×21.0	1通	
89	〔伊藤竹坡添状〕(別紙の通り浅川空助から申来ること, 追白御法号のことにつき)	七月十八日	16.3×18.8	1通	封紙(24.6×23.9)あり, 上書「菅太中様 伊藤貞蔵」 表書)菅太中様 伊藤貞蔵
90	〔伊藤竹坡書状〕(倅建蔵に軍事御教訓教導願ひ)	七月廿六日	17.2×60.3	1通	竹紙
91	〔伊藤竹坡書状〕(上様院号桂林院, 中山七左衛門福山勝手仰付の二件承知おきにつき)	八月五日	16.3×24.8	1通	
92	〔三好武吉書状〕(菅太中の菅三養子許可通知)	八月十三日	16.3×29.7	1通	封紙「御用村次(黒方印「邦徴」) 菅太中様 伊藤貞蔵」(24.4×33.0), 92~95封紙一括
93	〔伊藤竹坡書状〕(茶山への見舞い)	八月十三日	14.6×28.6	1通	封上書「菅々三様 侍史 伊藤貞蔵」
94	〔伊藤健蔵書状〕(養子願大目付へ指し出しのこと)	八月十三日午後	14.6×31.6	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
95	[某書付](菅三郎につき養子の儀)		14.6×6.5	1通	
96	[伊藤竹坡書状](当春趣方之儀昨七日仰出られた旨周知)	十二月八日	15.5×44.4	1通	
97	[伊藤竹坡書状](例年儒学料御請取りにつき)	十二月九日	16.5×45.4	1通	
98	[伊藤竹坡副状](別紙の通りにつき承知おきにつき)	十二月廿日	15.6×24.3	1通	竹紙
99	[伊奈平八書状](悴鉄蔵入門許可への礼状)	十二月朔日	30.0×44.3	1通	折紙, 端書「姫井町奉行伊奈平八」
100	[伊奈鐵蔵書状](年始挨拶墨進上, 作文進上添削依頼, 近藤の経歴等報告)	正月廿日	32.8×43.9	1通	
101	[伊澤蘭軒書状](群書類従の入手につき, 蠣崎波響・釧雲泉・石田などの動静, 頼久太郎茶山寺の後住のことにつき)	(文化七年)九月廿七日	4.9×135.4	1通	
102	[伊澤辞安書状断簡](豚犬等落手の礼, 高集一部金輪寺へ売る, 柳湾詩の儀ほか)	十月十五日	16.1×33.3	1通	
103	[維廉書状](兎佐へ「五ヶ年式人ふち」遣わされるにつき)	亥七月廿一日	16.0×27.6	1通	封上書「先生様 維廉上」 (端裏) 先生様 維廉上
104	[井上敬書状](丸山屋敷より南部伯民帰国につき,)	□月十六日	16.0×118.0	1通	
105	[井上順蔵書状](五山堂詩会, 雲潭宅火災など近況報告)	閏八月廿九日	16.3×163.8	1通	(端裏) 茶山先生 井上順蔵
106	[鵜川羽兵衛書状](時候挨拶)	八月十九日	14.4×40.3	1通	墨染紙, 端裏書「鵜川羽兵衛書」 (端裏) 鵜川羽兵衛書(茶山筆)
107	[ミそ屋栄吾書状](「府志」献上, 手伝いの人々への金子下賜, 白河公書塾へ寄附)	文化六年四月十三日	30.9×45.0	1通	



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
108	[浦上栄吾書状](甚後家之儀, 五七言絶句差上ぐ)	六月廿六日	16.0×60.3	1通	端裏書「みちカや栄口最後之書」
109	[浦池左五郎書状](新年挨拶, 田道公碑真偽論への所見を求む)	正月八日	30.9×44.7	1通	薄奉書紙
110	[浦池左五郎書状](御染筆頂戴に対する礼状)	九月廿九日	17.8×44.5	1通	文化11年力, 封上書「菅太中様侍右 浦池左五郎 奉辞賜答」 (表書) 菅太中様 浦池左五郎 侍右 奉辞賜答
111	[益曾書状]	上巳拾三日	16.8×89.8	1通	
112	[園部長之助書状](時候挨拶)	二月十四日	14.8×53.1	1通	
113	[園部長之助書状](挨拶状)	五月二十八日	15.3×43.2	1通	
114	[園部長之助書状](挨拶状)	六月十六日	15.1×30.7	1通	
115	[長之助書状](挨拶状)	八月廿七日	16.0×34.5	1通	
116	[奥葛三四郎書状](年賀, 拙作斧正, 梨雲閣額字押毫依頼)	正月廿五日	31.7×43.1	1通	薄奉書紙, 折紙
117	[岡元齡書状](的場八兵衛子息履軒行状等につき)	二月七日	16.5×62.1	1通	端裏書「菅」
118	[岡元齡書状](御屋敷重役より賛文依頼, 日本詩選後編にえらひ候京都の清田ら詩家にも詩集を登すよう依頼など)	七月四日	14.7×62.7	1通	封上書「菅太中様用事 岡惣左衛門」
119	[岡元齡書状](依頼の「復庵」額字および詩, 未だ参らざること)	九月十六日	14.3×28.4	1通	端裏書「菅」
120	[岡元齡書状](依頼の序文拝受, 絹代五百疋進上)	極月十五日	34.4×49.0	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
121	〔岡元齡書状〕(弊邑菅芳秀の号「復庵」額字揮毫依頼等)	閏月朔日	16.2×68.5	1通	
122	〔岡元齡書状〕(菅茶山が江戸表出立につき挨拶状)		17.1×109.4	1通	菖蒲図色版画下絵料紙(杉原), 漢詩を添える
123	〔岡元齡書状〕(貴門人小早川多才につき驚く, 昨年依頼した復庵額字につき)		14.5×42.3	1通	封上書「菅太中様無事 岡惣左衛門」
124	〔岡元齡書状〕(疫により仕事が進まなかったこと, 江戸表にての白河侯の動向等の報告等)		14.7×103.0	1通	
125	〔岡行淳書状〕(年賀返礼として詩扇頂戴につき礼状)	閏六月十九日	25.6×40.8	1通	薄奉書紙
126	〔岡忠左衛門書状〕(年賀状)	正月五日	33.4×47.7	1通	薄奉書紙
127	〔岡田清助書状〕(十八日柴亭にて集会参上につき)	七月十二日	18.1×32.5	1通	封上書「菅太中様 拝及 岡田清助」
128	〔岡部十太夫書状断簡〕(伴造・国造考証に対する返答)	八月十六日	15.9×204.7	1通	前欠
129	〔岡部十太夫書状〕(近況挨拶)	三月十五日	16.2×19.7	1通	
130	〔岡本花亭書状断簡〕(先日蕪詞莖カなどに御一撃くださったことにつき)	正月廿五日	15.3×41.2	1通	封上書「菅太中様 岡本忠次郎」
131	〔岡本花亭書状〕(尊集第二巻への感想と他巻・南海部山石借用依頼, 拙作批正願等)	正月廿三日	15.0×84.3	1通	封上書「菅太中様 岡本忠次郎」 (表書) 「菅太中様 岡本忠次郎」
132	〔岡本花亭書状〕(七言詩結句表現につき意見を求む)	二月二日	16.3×25.8	1通	
133	〔岡本花亭書状〕(後赤壁図に題揮毫, 南海一卷貸渡願)	二月九日	20.0×29.3	1通	竹紙, 封上書「菅太中様 岡本忠次郎」 (表書)「菅太中様 岡本忠次郎」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
134	〔岡本花亭書状〕(老菜の賛へ御印頂戴願)	二月十九日	17.9×20.3	1通	封上書「茶山老先生函丈 醒翁拜」 (端裏)茶山老先生函丈 醒翁拜
135	〔岡本花亭書状〕(詩仙堂来年五月百五十年遠忌, 修復料として出銀集まればこの人物に渡されたき旨他)	四月十八日	18.9×66.2	1通	竹紙団花文透料紙
136	〔岡本花亭書状〕(江戸到着早々来訪への礼, 滞在期間問い合わせ等)	九月十三日	15.2×46.9	1通	封上書「茶山太中様 岡本忠次郎」 (端裏)菅太中様 岡本忠次郎 (包紙) 「菅太中様 岡本忠次郎」
137	〔岡本花亭書状〕(画障への題讀依頼)	九月十四日	15.4×49.9	1通	封紙(23.9×33.8)あり, 封上書「菅太中様 岡本忠次郎」
138	〔岡本花亭書状〕(北條霞亭他界の様子, 拙集への序文の依頼等)	十月六日	18.1×166.6	1通	竹紙色摺下絵料紙, 端裏書「神辺」「岡本」
139	〔岡本花亭書状追啓〕(「休否録」についての問い合わせ)		15.5×18.7	1通	
140	〔岡本花亭書状追啓〕(藤染半切四枚豎物に高作押染依頼)		17.4×12.3	1通	
141	〔岡本花亭書状〕(精工の詩と称候一件につき精里に答えた書状を一見されたし)		19.7×11.6	1通	竹紙
142	〔岡本伝兵衛書状〕(画表具見積出来につき)	十二月十九日	16.0×63.5	1通	(十二月)十九日付覚(表具代金見積)表具師伝兵衛→菅太中様を同筆にて追記
143	〔岡野逢原堂書状〕(翠軒翁より十一年振り貴府の由何時まで滞留候や, 頼翁より手簡到来, 云々)	六月念九	20.4×60.8	1通	封上書「茶山先生絳帳下 従拜」 (端裏)茶山先生
144	〔岡野逢原堂書状〕(御旧作認め下さることにつき礼, 寄題御作催促など)	十月廿九日	15.9×49.1	1通	
145	〔音羽屋民次郎書状〕(賛の依頼, 紙の注文のこと)	六月五日	14.0×55.0	1通	封上書「菅養助様 音羽屋民次郎」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
146	〔音羽屋民次郎書状〕(差引書延引につき)	七月十二日	14.7×101.1	1通	封上書「菅長作様 民次郎」 (端裏) 菅長作様 民次郎 貴答 二品添
147	〔歌原宗蔵書状断簡〕(磁印一顆進呈につき)	六月初五日	16.6×91.5	1通	墨染紙, 端裏書「予州松山家中歌原宗蔵」
148	〔河合小太郎書状〕(年賀)	正月七日	32.4×44.5	1通	
149	〔河合隼之助書状〕	三月九日	16.2×155.8	1通	奉書紙
150	〔河合隼之助書状〕	六月十二日	17.6×150.5	1通	奉書紙
151	〔河崎良佐書状断簡〕(妹の和歌添削, 短冊落手の礼, 序文下置願)	九月十一日	18.1×117.8	1通	
152	〔河崎良佐書状〕(越前府中に達するまでの報告, 道中諸作浄書につき)	十月二日	15.9×145.0	1通	墨染紙
153	〔河相保平書状〕(御預金算用, 過上金落手願いたき旨)	五月七日	13.7×39.8	1通	封上書「菅老先生内用 河相保平」, 他に指引書(16.2×57.5)1通, 包紙(15.6×23.8)1通, 同上書「河相氏より江戸屋至さし引付」, 墨書付紙1紙あり (封筒表) 河相氏より江戸留主 さし引付 (封筒裏) 壹歩五十七 とりーこれ八下地 此中より 子壬八月十八日 六分九分 札有 内へ置 (端裏) 菅老先生 河相保平 内用
154	〔河相周兵衛書状〕(川本屋へ返済金利相渡)	亥五月廿九日	14.8×19.5	1通	封上書「太中様 河相周兵衛」 (端裏) 太中様 河相周兵衛

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
155	[河中儀市書状](銀子借用につき)	三月十二日	15.7×47.6	1通	
156	[河南儀兵衛書状](小寺帯刀様御注文内容報告, 詩集の願承知に対する礼)	二月五日	17.6×96.1	1通	
157	[河南儀兵衛書状](詩集讃州へお遣分代金未納, 詩会の儀承知するも禁句削取, その他)	二月廿五日	16.3×89.7	1通	
158	[岡忠右衛門書状](孫子不幸につき悔状)	三月廿五日	28.4×41.6	1通	
159	[河崎良佐書状](詩集一本作成予定二付電覧願, 北條霞亭とのやりとりを含めた近況報告)	十一月廿八日	14.9×153.0	1通	
160	[梶原七太夫書状](拙作斧正および高作頂戴御礼, 浜吉郎左衛門起居訪問, )	二月廿八日	15.1×63.3	1通	封紙(23.6×33.0)あり, 上書「於備後国神辺駅菅太中様侍史 梶原七太夫 平安従筑前国」
161	[梶原七太夫書状断簡](贈られた品拝味のところ感銘, 頼んでいた竹田一封, 浜一封など落手の礼状)	三月廿七日	15.7×64.4	1通	後欠
162	[梶原七太夫書状](無沙汰を詫びて近況報告を行う)	九月十八日	15.9×77.4	1通	薄奉書紙
163	[梶川卯介書状](「黄葉夕陽村舎詩付文一件」, 『黄葉夕陽村舎詩』序文について)	十月十二日	15.5×128.9	1通	封上書「小原梅坡へ梶川より来る書 黄葉夕陽村舎詩付文一件」
164	[樺島三助(勇)七書状](藩侍医古賀玄俊息元良文門下拝謁願, 題詩等呈上乞斧罵正)	三月十九日	15.8×82.8	1通	
165	[勘右衛門書状]	三月廿二日	16.2×85.5	1通	封上書「菅大先生 □潮官主人」(端裏)菅大先生 聴潮官主人
166	[間合小太郎書状](暑中見舞)	六月十日	16.0×51.1	1通	
167	[関重威書状]	正月十九日	17.8×69.1	1通	封紙「菅太中様 関平治右衛門 附箱入八本一冊」(24.8×33.0)

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
168	〔関重威書状〕	正月十九日	17.8×40.8	1通	封紙「菅太中様 関平治右衛門 附箱入八本一冊」(24.8×33.0)
169	〔関半左衛門書状写〕(『福山志』を江戸城に御持参, 松平伊豆守が抜書きし御満悦つき)	(文化二年)六月二十八日	15.0×54.0	1通	
170	〔関重威書状〕(病気による試作発題の場欠席のこと)	正月朔日	16.4×147.5	1通	
171	〔関重威書状〕(江戸表余寒去かねる気候により見舞の書状)	正月廿三日書	16.1×94.5	1通	
172	〔関重威書状〕(御詩集を差し上げることについての書状)	六月廿二日	15.7×39.9	1通	
173	〔関重威書状〕(江戸表御用の諸事を伝う)	七月廿四日	16.7×50.3	1通	封紙(24.9×16.9)あり, 上書「菅太中様再復 関平治右衛門 緘」 封書 菅太中様再復 関平治右衛門
174	〔関重威書状断簡〕(答礼状)	八月十五日	16.3×30.0	1通	
175	〔関重威書状〕(金毘羅旧像の事他江戸表小姓衆よりの諸事を伝う)	九月廿七日	16.1×61.9	1通	
176	〔関重威書状〕(鈴木未輔への音信の礼状)	十月廿日	15.9×25.5	1通	
177	〔鈴木半五郎書状断簡〕(時候挨拶か)		16.3×21.5	1通	後欠, 封上書「菅多仲様 鈴木半五郎」
178	〔岩瀬堪平書状〕(十日に取決めたい。倉・頼二家へも懸合う旨)	八月五日	16.6×32.7	1通	封上書「菅太中様客摺下 岩瀬却平」 (端裏) 菅太中様 岩瀬勘平 客摺下
179	〔吉岡元矩書状〕(御具足御祝儀につき出仕要請)	正月七日	14.9×35.4	1通	染紙(墨)章, 封紙「御役用 菅太中様 吉岡一問多」(34.7×34.6)
180	〔吉岡元矩書状〕(若殿よりの酒, 吸い物等御祝儀による出仕の要請)	閏正月十二日	14.9×39.2	1通	染紙(墨)使用, 封紙「御用村次 (黒印) 菅太中様 吉岡一問多 封 (黒印)」(25.2×35.5)

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
181	〔吉川武助書状〕(恵美三白へ御安 <sub>三</sub> (手偏+宅)の件, 及び近作扇子頂戴につき)	五月二日	16.0×47.1	1通	封上書「北條讓四郎様 吉川武助」 (端裏) 北條讓四郎様 吉川武助 拜答
182	〔吉川武助書状〕(江戸表ほか諸事を報じ, 詩作についての意見を求む)	霜月十七日認	14.3×75.0	1通	
183	〔吉田助之進書状〕(菅茶山の門田堯佐を養子にするにつき)	正月十三日	15.3×42.0	1通	封上書「伊藤文佐様 吉田助之進」
184	〔吉田豊功書状〕(年頭挨拶状)	正月廿四日	31.5×44.5	1通	封上書「菅太中様」 端裏書「吉田功」
185	〔吉田豊功書状〕(贈答に付礼状)	二月十五日	16.5×109.5	1通	
186	〔吉田豊功書状断簡〕(美酒, 棘りょう魚など歳暮の品々拝領への礼状)	□(十)二月十九日	16.4×96.1	1通	前欠
187	〔吉田豊功書状〕(「此三品」の件につき)	三月廿八日	15.8×59.5	1通	封上書「菅太中様 吉田助右衛門」
188	〔吉田豊功書状〕(御馳走につき礼状)	四月二日	15.8×107.7	1通	
189	〔吉田豊功書状〕(難波にて源右衛門訪問, 病枕にて妙薬所望, 白魚等贈答御礼のことにつき)	四月十三日	16.5×173.8	1通	
190	〔吉田豊功書状〕(近況を報ず)	卯月十九日	17.0×53.0	1通	封上書「菅太中様 吉田助右衛門」
191	〔吉田豊功書状〕(音物拝領につき礼状)	四月廿八日	16.4×52.6	1通	封上書「菅太中様 吉田助右衛門」, 封紙「菅太中様 用事 吉田助右衛門/十日写口 口同宿山本新太夫」(23.9×17.0)
192	〔吉田豊功書状〕(磁器・鍋蓋贈答につき礼状)	六月六日	15.8×73.5	1通	封上書「菅太中様 吉田助右衛門」
193	〔吉田豊功書状〕(扇ほか贈答の品々につき礼状)	(文政十年)閏六月九日	16.6×118.5	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
194	〔吉田豊功書状〕(音物への礼状)	七月十日	15.5×81.0	1通	封紙「菅太中様吉田助右衛門 封」(24.8×34.2), 封上書「菅太中様吉田助右衛門」
195	〔吉田豊功書状〕(浜焼鯛拝領への礼状)	九月廿三日	15.9×95.9	1通	
196	〔吉田豊功書状〕(平内方へ御手帟遣わされるにつき御礼, 面談依頼)	十月二日	16.6×104.5	1通	封上書「菅太中様 吉田助右衛門」
197	〔吉田豊功書状〕(音物拝領の礼状)	十月十六日	16.0×110.2	1通	
198	〔吉田豊功書状〕(御内祝の拝領につき礼状)	十一月三日	16.5×55.0	1通	
199	〔吉田豊功書状〕(鴨一羽贈答につき礼状)	(文政二年)十一月廿九日	16.1×91.1	1通	
200	〔吉田豊功書状〕(真鴨・美酒の歳暮贈答への礼状)	十一月晦日	16.6×104.5	1通	
201	〔吉田豊功書状〕(美酒・刺身など歳暮贈答の品への礼状)	十二月十三日	16.4×119.5	1通	
202	〔吉田豊功書状〕(美酒, 鴨贈答に付き礼状)	十二月十三日	16.0×86.6	1通	封紙「菅太仲様 吉田助右衛門」(23.2×32.6)
203	〔吉田豊功書状〕(雁1羽御恵贈下さる儀につき礼状)	十二月十九日	16.4×105.0	1通	
204	〔吉田豊功書状〕	□月十六日	16.5×123.2	1通	封紙「菅太中様 吉田助右衛門 封」(23.4×31.6)
205	〔吉田豊功状断簡〕		16.3×10.3	1通	封上書「菅太中様貴酬 吉田助右衛門」, 封上書部分のみ遺存
206	〔吉田豊明書状〕(塾付田地に付き, 願い通り認められた由の通達)	七月廿五日	15.2×48.5	1通	染紙(墨)使用, 藍・茶などの繊維を染めたものを一緒に漉きこむ
207	〔吉藤和兵衛書状〕(銀子借用の儀つき)	十月廿八日	15.1×66.4	1通	封紙「神辺駅本庄屋久助殿 吉藤和兵衛」(24.9×33.6), 朱文封印あり



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
208	〔脚屋善治書状〕	三月六日	14.5×82.4	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
209	〔久家茂七郎書状〕(古稀の華誕ゆえ拙作一首上呈,「玉蘭精舎」額字揮毫依頼)	(文化十四年)二月五日	17.0×70.6	1通	端裏書「高坦儒客久我茂七郎」
210	〔久家茂七郎書状〕(竹屋の額字の礼, 額字および煙雨図に旧作詩御染筆依頼)	六月廿六日	16.6×77.8	1通	
211	〔久米之助書状〕(玄郁(近藤伯協カ)の病状につき)	九月十七日夜	16.9×21.4	1通	封上書「菅太中様 久米之助」
212	〔宮武□□書状〕	拾月十八日	15.7×37.2	1通	封上書「菅先生 宮武□□」
213	〔近藤重蔵書状〕(茶山水戸行, 立原翠軒のことなどにつき)	文化元年五月九日	16.3×60.2	1通	封上書「菅太中様 近藤重蔵」
214	〔近藤重蔵書状〕(留話の一書のことにつき)	四月十二日	16.4×35.1	1通	
215	〔近藤重蔵書状〕(藩史の弊風について論評につき)		15.1×79.4	1通	
216	〔金谷与右衛門書状断簡〕(肴料進上并児童のための書を進上す)	五月十二日	17.7×53.0	1通	
217	〔桑田五溪書状〕(兵部御用事につき罷帰べき旨仰付らる)	六月二日	18.0×48.0	1通	
218	〔乗如別啓〕(啓運の事承諾いただき礼)		18.2×19.0	1通	
219	〔恵性院書状〕(額・一行物早速下されたことに対する礼状)	七月廿三日	15.7×55.7	1通	封紙(23.8×33.0)あり, 封上書「菅太中様 御弟子中 高野山恵性院/高野山」
220	〔恵美三白書状〕(新年挨拶)	正月十九日	34.4×47.2	1通	薄奉書紙
221	〔恵美三白書状〕(返書)	五月三日	15.7×29.6	1通	封紙「北條先生 函丈 恵美三白」(14.8×10.4)

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
222	〔恵美三白書状〕(孫への教育に対する礼状)	六月十五日	16.4×60.6	1通	
223	〔敬請書状〕(尾道にて大紺屋茶園借寓居のこと)		16.6×14.4	1通	
224	〔稽古堂主書状〕(桂林院様御法号改称等に付)	三月朔日	14.8×43.4	1通	
225	〔月形氏書状断簡〕(近況報告)		16.3×40.3	1通	後欠, 端裏書「筑州月形氏状」
226	〔月形質書状〕(枚拙稿推稿の作顔等につき)	三月八日	16.5×192.4	1通	
227	〔月形質書状〕(掛幅への詩作・文作の依頼「貴詩若貴文一章御染筆奉勞摺折本二贈シ度」)	四月二十日	16.2×21.6	1通	
228	〔月形質書状〕(面謁の依頼)	孟夏念日	16.2×41.5	1通	
229	〔月形質書状〕(惑論を唱える一味の会集について)	六月十三日	16.7×45.6	1通	
230	〔月形質書状〕(茶山病気につ詩集後編出版のこと等につき)	九月廿三日	15.7×142.1	1通	端裏書「茶山先生」
231	〔月形質書状〕(拝顔して相談したきにつき)	十月九日	15.6×29.9	1通	封紙あり(16.6×23.9), 上書「神辺駅に而菅太仲様 筑州月形七助 要急用書／緘十月九日北筑珂珂本郷」, 別紙書付附属「此書状御宿内菅氏江わたし候, 御届可被下候, 以上十月九日 神辺宿問屋弥へ衣」(15.0×7.0)
232	〔某見衛門書状〕	廿七日	14.5×33.4	1通	
233	〔元能書状〕(兄弟の秩序につき尋ねる)		16.6×34.3	1通	
234	〔古賀精里書状〕(箕浦悦六対州御用係として彼地へ赴任, 名村生蝦夷地に滞居など)	七月廿二日	32.0×45.7	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
235	〔古賀精里書状断簡〕	小春朔	15.9×31.8	1通	前欠
236	〔古川古松軒書状〕	七月廿日	16.6×53.9	1通	封紙「京都より 菅太仲様 古川古松軒」(23.8×22.0), 同裏書「備中有井より無事」「封」
237	〔古川古松軒書状〕(出羽山形領における百姓一揆を始め, 東国旅行中の見聞を知らせる)	八月廿三日	15.6×110.6	1通	
238	〔後藤漆谷書状〕(良平大坂へ出立)	正月十二日	17.2×44.7	1通	
239	〔後藤漆谷書状〕(臼杵氏近況ほかにつき)	四月廿口日	16.3×151.4	1通	端裏書「漆谷老人」
240	〔後藤漆谷書状〕(医生白井省光につき)	十月十五日	16.3×64.2	1通	
241	〔某広書状〕(近況(病状)につき)	(寛政四年力)八月五日	17.2×80.0	1通	
242	〔廣瀬蒙斎書状断簡〕(「花月吟」の奥書につき)		15.8×65.5	1通	
243	〔荒木善右衛門書状〕(東雅三巻御預けにつき)	首夏廿日	15.0×64.0	1通	封上書「頼弥太郎様 紙包式ツ添 荒木豊右衛門」
244	〔荒木圃叟書状〕(菅三殿諸入用につき)	九月七日	14.8×71.0	1通	封上書「菅大兄様 用事 千田 市郎兵衛」
245	〔高久隆次書状〕(近作詩高覧依頼のこと)	六月九日	16.0×36.0	1通	封上書「霞亭先生」
246	〔高橋文良書状〕(持病の頭痛により止宿断りの件につき)	三月十二日	15.5×36.8	1通	封上書「菅太仲様 芸州家中高橋文良」
247	〔高滝磐之丞書状断簡〕(近況報告)	三月十一日	16.6×209.7	1通	前欠
248	〔高津平蔵書状〕(会津藩の事情を報じ, 碑文の漢詩草稿の批正を依頼)	三月十四日	15.8×185.4	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
249	〔黒沢正助書状〕(枉駕叶わざることへの詫, 漢詩批正依頼)	正月十三日	15.5×66.9	1通	
250	〔黒沢正助書状〕(とろろ御馳走したきにつき案内)	二月初二	15.9×43.0	1通	黄染紙, 封上書「菅太中様当用 黒沢正助」
251	〔黒沢正助書状〕(両三日中に相談あり)	八月十二日	16.6×28.3	1通	封上書「太中様 正助」 (表書)太中様 正助
252	〔黒沢正助書状〕(平井来訪につき, 茶山への来駕願)	十二月十二日	16.2×22.2	1通	封上書「菅太中様当用 黒沢正助」 (表書)菅太中様 黒沢正助
253	〔黒沢書状〕(早々お入り希い奉り候)		16.2×25.3	1通	封上書「菅様 黒沢」 (表書)菅様 黒沢
254	〔今枝子黯書状〕(小柴等一同再会を喜ぶ, 扁額の字下さることにつき礼)	仲夏望前一日(五月十四日)	16.7×56.3	1通	封上書「菅太仲様 三枝世頭拜具」
255	〔今枝子黯書状副状〕副啓(罹病故無沙汰の詫, 願候諸件への御懇情に対する礼)	六月十八日	16.4×213.7	1通	
256	〔今枝子黯書状〕(北條霞亭御不済の儀につき報告)	十一月廿三日	32.0×43.1	1通	薄奉書紙
257	〔今川某書状〕(群書類従, 北山詩話三冊閲覧のこと伊沢辞安より申上るにつき)	十月廿五日	17.0×55.0	1通	端裏書「今川 午十一月十八日二来候 河田氏より」
258	〔今村五郎左衛門書状〕(御押筆二幅落手につき礼状)	六月十九日	16.6×42.5	1通	
259	〔今村蓮坡書状〕(大田南畝の賛を依頼)	七月廿九日	15.2×48.8	1通	
260	〔根岸行蔵書状〕(暑中見舞につき)	六月九日	15.3×44.0	1通	封上書「姫路」
261	〔義方書状〕(指南につき礼状)	孟春十三日	16.2×127.1	1通	
262	口上(指南につき礼状)	三月十六日	16.0×35.9	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
263	〔義方書状〕(「白鹿之候類」につき)	三月廿二日	17.6×42.7	1通	
264	〔佐原義方書状〕(祝辞一尾の口達につき)	九月二日	15.8×70.9	1通	封上書「菅老先生 佐原義方再拜」,一枚目のみ染紙(茶)
265	〔佐原作右衛門書状〕(諸事調べにつき礼状)	三月四日	16.0×42.6	1通	封上書「太中先生 佐原作右」
266	〔佐原作左衛門書状〕(御内悦御餅御送り下され候につき礼状)	後六月五日	16.4×58.3	1通	封上書「菅太中様 佐原作右」
267	〔佐原作右衛門書状〕(寒中見舞)	十二月二十日	16.7×73.8	1通	封上書「太仲様 作右衛門」
268	〔佐原作右衛門書状〕		16.5×46.5	1通	封上書「菅太中様 佐原作右衛門」
269	〔佐原又作書状〕(江戸より到来の書画への賛の依頼)	六月十四日	18.0×43.7	1通	封上書「菅太中様口呈机下 佐原又作」
270	〔佐甲甚左衛門書状〕(上端朱塗礼状箕浦東伯について追伸)	三月十二日	18.2×68.8	1通	上端朱塗
271	〔佐藤吉太夫書状〕(面閲願い)	(文政元年)三月廿四日	16.6×77.7	1通	
272	〔佐藤吉大夫書状〕(中元の挨拶,音物の贈呈)	(文政八年)八月三日	17.7×83.5	1通	
273	〔斎藤一興書状〕(新年の挨拶)	正月二日	28.4×41.5	1通	
274	〔斎藤一興書状〕(年始祝書を送らないことの詫びおよび藩内近況)	正月廿八日	16.5×47.6	1通	
275	〔斎藤一興書状〕(弊国町家児島屋武助のこと)	四月廿七日	16.9×44.5	1通	
276	〔斎藤一興書状〕(画賛依頼)	四月廿七日	16.9×26.2	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
277	〔斎藤一興書状〕(斎藤妙椿のことにつき)	五月七日	15.6×69.5	1通	岡山商人を記した添状(15.6×14.8)あり
278	〔斎藤一興書状〕	五月廿三日	15.7×25.0	1通	前欠
279	〔斎藤一興書状〕(源氏に附した雑画のこと弊藩菩提所曹源禅寺のこと)	五月廿六日	16.2×76.9	1通	
280	〔斎藤一興書状〕(礼状)	六月〇三日	27.8×40.9	1通	
281	〔斎藤一興書状〕	七月廿七日	16.5×23.8	1通	封上書「太中様 清右衛門」
282	〔斎藤一興書状〕(江戸近国・奥羽の陰昭間合, 小早川贈詩)	九月十七日	16.6×33.7	1通	
283	〔斎藤一興書状〕(来月中旬諸用引渡)	九月廿五日	16.6×39.1	1通	
284	〔斎藤一興書状〕	十二月五日	16.0×56.9	1通	
285	〔斎藤一興書状〕(部山石記について)	臘月十日	16.5×82.1	1通	
286	〔斎藤一興書状〕(五十までにももの上手に至らぬことにつき)		16.5×23.0	1通	
287	〔斎藤勝太郎・斎藤小平書状〕(小紙書物便参着請取のことにつき書状)	九月十六日	16.3×49.7	1通	
288	〔斎藤小平書状〕(裏書「白川公ノ書通府中へおくる礼書ならひに京都斎藤小平書状, つゞミ候て, 〇ル入用物」)	二月十二日	24.9×34.0	1通	折紙, 裏書「白川公ノ書通府中へおくる礼書ならひに京都斎藤小平書状, つゞミ候て, 〇ル入用物」
289	〔斎藤小平書状〕(田内主税, 武元立平を遣わされるにつき)	九月六日	16.1×41.1	1通	
290	〔斎藤清右衛門書状〕(逸史蔵本さし支の儀, 大田錦城大贖写の儀など)		16.3×68.1	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
291	〔口上之覚〕(北條霞亭翻刻「小学纂注」板木を霞亭没後福山藩に上納の事につき)	(文化六年)十月	18.0×64.5	1通	封上書「積へ」 扣へ
292	〔桜田権大夫書状〕(「水系桜」を主題として作歌の依頼)	十月十五日	16.5×132.1	1通	封上書「奉 茶山先生 桜田 行 九拜」
293	〔三岡書状〕(江戸の書画会席の件及び格別の火災なきことなどにつき)	正月念五日	16.5×36.9	1通	
294	〔三葉沙門誰公書状〕(返書)	七月十二日	15.6×14.8	1通	封上書「貴酬」
295	〔山口凹巷書状〕(年頭挨拶)	二月廿八日	30.8×42.8	1通	(表書)茶山菅先生 絳帳下
296	〔山口凹巷書状〕(時候挨拶)	(文政元年)四月十四日	16.7×99.9	1通	
297	〔山口凹巷書状〕(序文の依頼つき)	五月廿八日	32.3×45.0	1通	
298	〔山口凹巷書状〕(素麺の礼, 家父への賛の礼)	十月十八日	29.0×41.2	1通	「菅太中様侍史 角太夫事山口長二郎 封」(27.7×29.0)
299	〔山口凹巷書状〕(序文の礼状)	十月十八日	32.0×42.7	1通	
300	〔山口凹巷書状〕(日記等につき)	子閏冬廿三日	32.8×45.0	1通	
301	〔山口凹巷書状〕(詩文批正依頼)		15.7×12.2	1通	
302	〔山村蘇門書状〕(近況を報ず)	二月十一日	16.2×131.0	1通	端裏書「菅太中様山邨伊勢守」
303	〔山田利助書状〕(利助倅訪問につき)	四月廿七日	15.1×44.4	1通	端裏書「いよ西口 山田利介」
304	〔市右衛門書状〕(画賛の件依頼のことにつき書状)		20.4×26.2	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
305	〔市川忠蔵書状〕(先生御帰国の由伝聞, 画賛早速認め下さることにつき礼ほか)	七月七日	36.1×48.0	1通	奉書紙, 折紙
306	〔市川一六郎書状断簡〕(伊沢辞安口中腐無言にて寂々等報告)	四月十二日	16.5×34.5	1通	前欠
307	〔市川宣右衛門書状〕(学問料銀札下置かれるに付受取書持参)	三月五日	15.2×23.2	1通	切紙三紙付属, 1)14.8×4.6「金三百疋 此札四拾九匁五分七厘式毛」, 2)14.8×3.0「御手当銀 百弍拾目」, 3)14.1×3.1白紙, 封紙あり(23.6×33.8)同上書「於川北村 市川宣右衛門」
308	〔志村尊(篤)治書状〕(出府につき状況を伝う)	四月廿三日	15.1×85.2	1通	
309	〔柴巖和上書状〕(摂州移住につき近況様子のこと通知)	一口丑九日	16.0×51.0	1通	封上書「紫巖和上書状」
310	〔似月次郎八書状〕	五月四日	17.9×22.6	1通	封上書「寺町六角下ル 菅多中様 学前 似月次郎八拜書」
311	〔七郎兵衛書状〕(詩文批正頼および先年来の作御覧入のことにつき)	十月廿一日	16.2×48.8	1通	封上書「太中様 七郎兵衛」
312	〔篠崎小竹漢詩〕(批正依頼)	(文政七年)八月十八(七)日	36.4×47.4	1通	
313	〔篠崎三島書状〕(官物の件につき)	二月五日	16.9×53.7	1通	
314	〔柴巖書状〕(詩歌と画賛の依頼月仙二幅について)	寛政九年四月一日	16.2×97.1	1通	
315	〔柴野平次郎書状〕(柴野栗山養子柴野碧海音物拝領につき礼状)	二月十二日	15.7×109.8	1通	
316	〔若山新左衛門書状〕	十月廿五日	31.4×44.7	1通	
317	〔若槻幾斎書状〕(七月十八日付の茶山書状に対する返書)	八月十六日	32.0×45.0	1通	
318	〔若林叢亭書状〕	七月十日	16.9×35.5	1通	



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
319	〔手嶋伊助書状〕(那須氏一件取計および権次郎東行のにつき)	九月廿五日	12.2×146.8	1通	封上書「九月廿五日出十一月廿日至 手島五郎助」
320	〔津軽屋三右衛門書状〕(近日ご光来の由きいたが, 見合わせてもらいたい旨)	正月廿二日	16.0×58.9	1通	封上書「菅太中様 津軽屋三右衛門」
321	〔狩谷掖齋書状〕(昨秋来伊沢にて治療せしこと, 梧堂昨夏帰国の由など)	正月廿六日	15.8×126.6	1通	
322	〔周次郎書状〕	正月廿日	13.8×23.7	1通	封上書「老先生様 周次郎」
323	〔周兵衛書状〕(明日御出立につき, 銀子および隅屋より添状手筈等のこと)	四月四日	14.5×46.5	1通	
324	〔純存書状〕(歳暮挨拶)	としの暮の廿六日	31.2×44.8	1通	
325	〔小河良蔵書状断簡〕(依頼の画賛下付願)	五月廿八日	15.8×28.6	1通	前欠, 裏書「くらしき岡書状」
326	〔小原大之介書状〕(藤樹書巻跋文章稿御染筆の件ほか)	二月十二日	16.5×66.2	1通	別紙(16.7×8.4)1紙附属
327	〔小原正修書状〕(息遊軒遺跡碑写本の件, 保野伴次・小野屋円吉両名訪問依頼)	四月二日	17.5×44.7	1通	封紙(27.6×39.9)あり, 上書「備後神辺菅太中様 要用 備前岡山小原大之介平信ノ(白文方印「梅坡」)」
328	〔小原太介書状〕(尊集拙序のこと, 扇面御染筆依頼ほか近況報告)	閏月朔日	15.9×97.8	1通	竹紙
329	〔小寺清先書状〕(歌集名『猶園集』と同意くだされ父子ともに悦ぶ)	(文政五年)八月廿五日	18.0×50.3	1通	和歌詠草4紙あり, 18.0×30.7, 18.0×8.0, 18.0×6.0, 18.0×4.8
330	〔小寺清先書状〕(『猶園集』草稿返却に対する礼, 帯刀参上来月に延引)	(文政六年)二月廿七日	16.0×52.3	1通	端裏書「菅太仲様絳帳下」
331	〔小寺清先書状〕(年賀, 寓詠過奨に対する礼状と漢詩批正依頼)	(文政十年)正月十一日	31.2×44.8	1通	
332	〔小寺清先書状〕(批正依頼)	二月七日	16.0×47.7	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
333	[小寺清先書状](諸病により御無沙汰の儀につき詫び)	五月廿一日	16.0×35.3	1通	
334	[小寺清先書状](茶山東遊の帰路, 我室に入らざるにつき)	夏五晦日	16.9×66.2	1通	
335	[小寺清先書状](石摺貴跋の内舞譜の義につき愚意申上)	七月十六日	31.8×45.1	1通	
336	[小寺清先書状](津軽・南部・会津藩樺太出張の件を小寺廉之に伝えてくれたことへの礼状)	七月十七日	17.0×59.3	1通	
337	[小寺清先書状](阿武隈川硯箱拝見, 先年の愚詠書付送付)	九月六日	33.6×47.5	1通	薄奉書紙
338	[小寺清先書状](草稿返却に対する謝辞)	十月三日	15.5×28.5	1通	
339	[小寺清先書状](菅茶山が批正を乞うた文章を受領につき)	十一月六日	16.2×40.2	1通	
340	[小寺清先書状](来訪等の謝辞と直筆漢詩の惠贈を依頼)	十一月廿三日	30.4×44.7	1通	薄奉書紙
341	[小寺清先書状](詩文浄書に対する礼状, 和歌三首批正依頼)		17.0×53.6	1通	
342	[小寺清先書状](笠岡一寡婦の和歌につき)		16.0×27.8	1通	
343	[小寺廉之書状](二月末より息子三人が病氣となり一人他界につき)	四月廿七日	16.0×43.6	1通	添状(16.0×11.2)「廿七日 廉之」附属
344	[小野高任書状]	三月廿二日	16.3×36.1	1通	
345	[小林立数書状](印形を持参して欲しい)	獵月廿八日	60.0×54.9	1通	封上書「茶山先生 小林立数」
346	[松永徳兵衛書状](茶山の留守に数日逗留, 北條霞亭死去を悼む)	八月四日	16.6×114.4	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
347	〔山田松太郎書状〕(銀300目借用依頼)	七月廿三日	13.6×49.4	1通	封上書「菅御伯父様 口中内要用 山田 松太郎」
348	〔松布衆書状〕	六月九日	15.1×41.9	1通	封上書「茶山詩伯足下 松布衆拜」,断簡(15.0×3.8)附属
349	〔松理書状〕		16.2×35.6	1通	封上書「茶山先生座下 松理拜」
350	〔松理書状〕		15.2×25.1	1通	
351	〔上村兵衛門書状〕(依頼していた松菌寄題御高作一幅につき)	三月朔	16.6×57.0	1通	墨染紙
352	〔森岡綱太書状〕(無事帰宅,滞在中の厚遇を謝する)	十二月十日	21.9×33.0	1通	
353	〔森島伊丹書状〕(礼物受取の礼状)	六月十三日	15.7×48.6	1通	
354	〔森島伊丹書状〕(当年川役米未済につき料助へ文通の要請)	蠟月十一日	15.9×81.6	1通	
355	〔真野竹堂書状断簡〕(病中の面談をわびる,字義解説のことにつき)		15.6×39.9	1通	後欠,上書「朔日行便/菅太中様 真野祥左衛門」
356	〔進藤恕平書状〕(和歌三首を御覧に入れる)	七月六日	16.0×58.5	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号,921号,925号,930号,文書・記録類308号,615号,617号,618号,619号卷子装一括,
357	〔仁尾丹次書状〕	十一月十日	15.5×67.8	1通	「菅太仲先醒 自河州伊尾丹次」「封」(33.5×24.6)
358	〔水谷定英書状〕(茶山御高作は子孫に残すことにつき)	十一月九日	34.0×46.5	1通	
359	〔菅原口助書状〕	□□十二日	16.6×74.9	1通	
360	〔菅自牧齋書状〕	閏正月四日	17.4×18.3	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
361	〔序平書状〕(金銀受渡しに関して)		13.0×14.0	1通	封上書「先生様拝答 序平拝」
362	〔菅野景知書状〕(火事に付き見舞いの品々拝受の礼と焼失家屋普請の近況を報ず)	八月廿四日	31.5×44.5	1通	
363	〔袋立書状〕(帰国の時期につき報ず)	九月四日	15.6×21.9	1通	
364	〔菅景知書状〕(当春備中亡伯時祭にて中原・小野等と雅談のこと等近況を伝う)	臘月十七日	16.4×84.5	1通	封上書「菅」
365	〔澄川元袋書状〕(時候挨拶状)	三月二日	15.5×75.2	1通	端書「筑前澄川元袋石経を恵む書」
366	〔□□屋加衛門書状〕(書物送状)	十一月十二日	16.2×20.8	1通	
367	〔世修書状〕(暑中見舞い)	五月二十二日	16.5×59.3	1通	
368	〔成島東岳直書状〕	閏月四日	17.1×35.3	1通	天地に朱線
369	〔成島邦之助書状〕(礼物進呈のことにつき)	十二月五日	16.7×27.5	1通	封上書「菅多仲様 成島邦之助」
370	〔成美書状〕(詩稿の書き改めにつき)	十月廿五日	15.4×32.0	1通	
371	〔成良書状〕		16.5×25.7	1通	
372	〔正□□書状〕(蜀山人門人逗留の事についての書状)	三月廿九日	17.3×51.8	1通	
373	〔清水平八書状〕(酒一壺の御礼として詩を呈上することに付けての書状)	二月廿六日	15.2×73.2	1通	
374	〔生長浅右衛門書状〕(金子借用の依頼)	九月二日	15.7×46.5	1通	封上書「菅長作様 生長浅右衛門」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
375	〔西山孝恂書状断簡〕(薬を紹介し服用を勧める)	七月五日	15.0×23.5	1通	前欠
376	〔西山孝恂書状〕	陽月十日	15.9×112.6	1通	端裏書「西山孝恂」
377	〔西山広書状〕(幸便につき、長年の無沙汰をわび、茶山の学識への賛意を伝える)	(八月十有三日)	17.3×197.9	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
378	〔西山拙斎書状〕(儒学に関する意見につき)	安永三甲午歳冬十二月	14.0×40.5	1通	
379	〔石原貞介書状〕(年始挨拶)	正月十七日	30.9×44.7	1通	
380	〔石田梧堂書状〕(御高作菊軒より伝聞など近況報告)	八月廿八日	16.5×114.2	1通	
381	〔赤名(石)退蔵書状〕(尊集大抵相成, 御気に叶候由大慶)	七月十二日	16.1×64.7	1通	端裏書「先生」, 封紙(34.5×25.5)あり, 同上書「備後神辺駅菅太中様 従京師赤名退蔵(後略)」
382	〔千村左吉・乾良蔵書状〕(辰八月の書状を遅れて受け取った旨返書)	五月二日	15.4×56.1	1通	封紙「菅太中様 千村左吉 乾良蔵」(23.7×25.4), 別紙「覚」あり(15.4×14.0)
383	〔門田宣書状〕(十二月二十六日付の茶山書状への返書, 近況報)	文化十二年正月十八日	16.0×80.1	1通	
384	〔川合丈平書状〕(七十歳の祝に御高作依頼, 観龍寺主(風牀)のこと)	(文化十四年)二月十六日	15.8×48.2	1通	
385	〔川田右口書状〕(馳走の礼, 依頼の詩下置願)	二月十七日	16.4×51.4	1通	封上書「菅太仲様 川田右口」
386	〔浅川空助書状〕(御鐘銘江戸表へ相談するも返答なきにつき延引のこと)	四月廿五日	16.6×33.8	1通	
387	〔浅川空助書状〕(謙徳院様御法事につき組合御香典の儀承知あるべし)	七月十七日	14.7×15.4	1通	墨染紙

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
388	[浅川空助書状](謙徳院様御法事御拝礼につき)	七月十九日	15.6×45.5	1通	墨染紙
389	[倉井茂手木書状](鈴木先生伝言及び講釈様子報告)	七月廿七日	15.3×37.8	1通	
390	[倉成善司書状](自身および周囲(栗山・二州・精里)らの近況報告)	七月廿七日	16.1×101.6	1通	色紙, 封紙(24.4×33.5)あり, 上書「備後神辺宿 菅太仲様 倉成善司」
391	[惣徳助書状](江戸飛脚到着につき)	霜月十四日	15.8×29.0	1通	
392	[荘蔵カ書状](現蔵殿下される御懇情に対する礼状)	廿七日	15.0×19.8	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
393	[増田千右衛門書状](川口孫作樽献上の周旋依頼につき礼状, 「三原諸白」などにつき)	三月晦日	15.0×130.9	1通	封上書「川口屋助一へ御旗本川口孫作殿状写」
394	[村上玄卿書状](ザボン五つ献上, トケイの儀)	十月三日	16.5×42.8	1通	
395	[村上彦峻書状](揮毫の依頼, 六如生存中に依頼した詩につき)	七月三日	16.5×75.6	1通	
396	[村田春海書状](浅間山の漢詩の礼状)	文化元年十月九日	16.9×40.7	1通	封上書「菅太中様 村田平四郎」
397	[太田全斎書状](昨廿七日隠居仰付けられ, 倅藤七郎跡式相違なきにつき)	正月廿八日	16.7×52.1	1通	端裏書「太田八郎」
398	[太田全斎書状](又太郎病氣, 肩痛のこと)	七月廿二日	16.0×43.8	1通	
399	[太田孟昌書状](永井のもとで医業修了した音助の書状を母へ渡すことを願う)	五月廿八日	15.6×90.8	1通	端裏書「菅先生内」
400	[太田孟昌書状](御用向おおかた調達済ほか諸事連絡)	八月望	15.7×129.2	1通	封紙(16.4×4.6)あり, 上書「菅太中様 無事 太田昌太郎／八月中秋」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
401	[太田孟昌書状(前欠)](小生殊に懇意故痛惜仕)	十月廿八日	17.3×40.5	1通	前欠
402	[太田孟昌書状](書状間違にて返り来たこと, 世話する音助の親呼出願い)	十二月十八日	15.5×126.9	1通	端裏書「菅先生」
403	[大含書状](漢詩の批正依頼)	五月十四日	17.9×51.9	1通	
404	[大含上人書状](詩を二首奉呈すること)	十二月十七日	17.8×89.5	1通	
405	[大原吞卿書状](筑波山・水城の二枚真景を描くことなど近況報告, 水戸蔵米之事, )	五月十日	15.5×155.0	1通	
406	[大原吞卿書状](御草稿拝見したい, 今日是在宿にて遠くない旨)	八月卅日	15.0×26.7	1通	封上書「菅太中様 大原左金吾」
407	[大戸久三郎書状]	二月三日	14.9×44.9	1通	
408	[木綿屋久三郎書状](御言方の儀お尋申上たが, 何卒お調べくださるよう)	五月廿日	14.6×46.6	1通	封紙(24.6×25.6)あり, 上書「於神辺 菅茶山先生様 尊下 従福山矢掛屋木綿屋久三郎拜/謹来」
409	[大蔵謙助書状](頭痛・悪寒のため本日宴会欠席の詫)	七月十八日	16.5×70.9	1通	封上書「菅多膳様 大蔵謙助」
410	[大塚三郎助書状]		15.9×38.0	1通	封上書「神辺菅堯佐様 大塚三郎助」
411	[大田直中書状](ご不快の由ながら無沙汰の詫, 見舞品進献)	初秋十日	17.3×48.7	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
412	[大龍寺喜誉書状](菅圭二居士十三回忌の回向料の礼状)	八月五日	16.7×49.5	1通	
413	[谷山九右衛門書状](江戸表の諸事を伝う)	十一月二日	33.5×47.7	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
414	〔松平冠山書状〕(旧年相願候御作授られるに付礼状)	孟春廿日	31.3×41.3	1通	
415	〔竹田易吉書状〕(学生の上京について)	暮秋廿八日	15.8×62.3	1通	
416	〔竹田易吉書状〕(学生らの近況について報ず)	十一月十八日	15.6×68.2	1通	
417	〔竹田器甫書状〕(桜花・桃花の詩歌につき)	二月廿七夕	16.0×87.3	1通	
418	〔竹田器甫書状断簡〕(近況を報ず)	七月廿七日	15.9×78.3	1通	中欠
419	〔竹田器甫書状〕(病後の療養・体調につき報ず)	九月廿日認	16.0×65.3	1通	
420	〔竹田器甫書状〕(江戸表の諸事につき報ず)	九月廿日	16.0×57.3	1通	
421	〔竹田器甫書状〕(平戸の山県貞三郎の紹介状)	十一月十八日	16.4×113.6	1通	
422	〔竹田器甫書状〕(時候挨拶)	閏月二十二日	16.7×67.5	1通	
423	〔竹田器甫書状断簡〕(滞在地の状況を報ず)		15.7×51.8	1通	後欠
424	〔竹田器甫書状断簡〕(書物の件に付)		15.7×37.0	1通	前後欠
425	〔中井雄右衛門書状〕(漢詩批正依頼)	九月十一日	16.7×53.9	1通	染紙(藍)使用, 端裏書に鈴木圭輔漢詩あり
426	〔中山言倫書状〕(付随近況, 二歳の子の成長につき報ず)	三月十八日	16.6×197.6	1通	染紙(茶)使用, 書付二枚(16.4×9.5「錢屋安売」和歌, 16.5×5.6「金札場下り候即或人足留候」将棋の駒の描画あり)付随
427	〔中山言倫書状〕(緑・紅・緑の紙の継ぎ諸事・近況を報じ面謁を依頼)	八月廿八日	16.7×153.7	1通	染紙(緑・紅・緑)



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
428	[中山光定書状](四時から九時までの出仕を伝う)	六月廿六日	16.3×84.0	1通	
429	[中山惣徳助書状](東都への土産として扇面認め方依頼状)	二月十五日	17.2×59.7	1通	
430	[中山南街書状断簡](年頭挨拶)	正月八日認	16.6×41.6	1通	前後欠
431	[中山南街書状](年頭挨拶)	正月十五日	31.6×44.0	1通	
432	[中山南街書状](「新造目出度申納候」年頭挨拶状, 藩内諸事につき報ず)	正月廿八日	15.8×105.4	1通	
433	[中山南街書状](「御様始」につき)	正月廿八日	15.7×11.8	1通	書付(15.7×4.5)附属
434	[中山南街書状](年頭挨拶)	二月朔日	17.3×44.0	1通	別紙有り(17.3×14.6)
435	[中山南街書状](年頭挨拶状)	二月二日	15.7×44.9	1通	
436	[中山南街書状断簡]	三月十四日	15.9×13.5	1通	前欠
437	[中山南街書状](詩作の料紙について詳細を報ず)	四月七日	17.7×40.0	1通	端裏書「大中山」
438	[中山南街書状](虫損家族を含む近況や京都の情勢を報ず)	四月十七日	16.5×90.9	1通	
439	[中山南街書状](銘改につき, 出向不行届のため苦勞をかけたことへの詫び状)	六月六日認	15.1×71.5	1通	裏書「中山惣儀助」
440	[中山南街書状](近況につき報ず)	六月十二日	15.7×22.6	1通	
441	[中山南街書状](「絨布之御作」拜見につき)	六月十二日	15.6×19.9	1通	封紙「前書」(24.6×11.9)

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
442	口上(音物進上につき礼状)	閏六月廿八日	15.7×33.5	1通	「口上」
443	[中山南街書状](副書の件につきほか)	七月九日	15.8×57.5	1通	
444	[中山南街書状](音物につき礼状)	七月十日	16.2×55.5	1通	
445	[中山南街書状](家族の近況を報ず)	九月廿日	16.5×59.9	1通	
446	[中山南街書状](福山藩侍読の人選につき)	九月二十三日認	16.6×102.7	1通	封紙「菅太中様 中山七左衛門」(24.8×34.3)
447	[中山南街書状](「仏信之画賛」依頼につき)	十月四日	15.9×105.8	1通	染紙(黄・茶), 封紙「菅太中様 中山七右衛門 封」(33.8×24.6), 書付あり(15.8×4.7)
448	[中山南街書状](自作和歌草稿批正, 書画拝領の依頼)	十月六日	15.8×100.4	1通	染紙(黄・茶), 封紙「菅太中様 中山七左衛門」(33.0×24.1)
449	[中山南街書状](書画拝領の礼状)	十月十五日認	15.9×85.4	1通	染紙(藍・黄・茶), 書付(十八日付)あり(15.8×4.2)
450	[中山南街書状](行書二枚の件につき)	霜月四日	16.5×72.3	1通	茶刷柄付封筒あり(7.3×4.7), 封筒上書「菅太中様 中山造酒助」, 同裏書「霜月四日西浜やへ托ス 封」
451	[中山南街書状](江戸廻船にて荷物運送につき)	霜月十五日	15.9×49.2	1通	
452	[中山南街書状断簡](面謁を依頼す)	霜月廿一日	16.5×32.7	1通	前欠
453	[中山南街書状](音物礼状, 田地の事について報ず)	十二月朔日	16.5×84.8	1通	
454	[中山南街書状](「六郎出房之時分」ほか, 諸事を報ず)	十二月十八日	17.3×62.8	1通	書付一枚(17.0×13.7)附属
455	[中山南街書状](家族を含む近親の近況および江戸の状況や諸事を報ず)	十二月廿九日認	16.2×132.7	1通	別啓二枚(16.3×11.0, 16.3×16.6), 附属

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
456	[中山南街書状](殿様御不快につき)	九日	16.4×19.0	1通	
457	[中山南街書状](此兩種誠二見苦敷品々に候につき)	十一日	16.4×13.0	1通	
458	[中川清左衛門書状](画扇拝領の礼状)	八月十一日	14.4×65.4	1通	
459	[中川清右衛門書状断簡](自作の詩帖および画批正依頼の礼状)	八月廿二日	15.7×71.9	1通	後欠
460	[中村圃公書状](詩作につき相談)	三月五日	16.3×36.0	1通	
461	[中村圃公書状](時候挨拶)	九月十三日	16.5×37.9	1通	
462	[中谷分兵衛書状](釈菜につき)	九月十九日	15.8×85.4	1通	
463	[中島徳助書状断簡]	七月六日	15.9×34.0	1通	前欠
464	[中尾陽之進書状](当地にて医師にかかり逗留しき旨および帰国後拜謁を期す)	六月下旬	15.3×64.7	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
465	[中條林左衛門書状](好之丞・吉之丞の世話につき礼状)	八月十七日	31.4×44.3	1通	
466	[朝野書状]	六月二日	16.2×112.4	1通	
467	[長根勇八郎書状写](茶山の事につき)	十月二日	15.7×214.5	1通	端裏書「南部御家中長根勇八郎様書写し 北條共」
468	[長田屋藤七書状断簡](広瀬蒙齋出府, 千蔵は未だに木曾道中の本庄に居るとのこと等につき)	四月廿九日	15.0×46.8	1通	前後欠

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
469	〔志村東嶼カ書状〕(舟遊に不参加の詫びと、帰路に水月小播方立寄依頼につき)	文化元年七月七日	17.2×49.7	1通	封上書「茶山先生 直」
470	〔槻庫右衛門書状〕(茶山七十賀詩の批正依頼)	(文化十四年カ)	16.5×51.0	1通	
471	〔廷鷺書状〕(雅号下されるにつき)		13.7×39.2	1通	封上書「礼卿賢契 廷鷺拜 五几下雅号も可仰下候」
472	〔梯伝箕嶺書状〕(「御会」二十七日に延期の件承知につき)	(文政十一年)霜月十二日	16.1×48.7	1通	封上書「菅太仲様 貴物 梯 伝」
473	〔田井元陳書状〕(大野萬平(文泉)の病気の様子など)	二月八日	16.1×72.5	1通	染紙(茶)
474	〔田井元陳書状断簡〕(諸事を報じ、自作和歌批正依頼)	六月五日	16.6×223.2	1通	途中欠
475	〔田井元陳書状断簡〕(八王寺女鯨書帳等呈上、井上八郎右衛門の詩添削依頼ほか)	孟秋十九日	15.9×223.4	1通	前欠
476	〔田井元陳書状断簡〕(雪舟絵を御慰に差し上げるにつき)	八月念六日	16.2×23.1	1通	前欠
477	〔田井元陳書状〕(養生の件)	初冬念五日	16.6×115.0	1通	
478	〔田井元陳書状〕(大槻玄沢へ蘭書讃詞認方に付き)		16.6×26.4	1通	
479	〔田坂奥軒書状〕(倅の事につき)	三月廿日	16.1×80.4	1通	
480	〔田中□□書状断簡〕	四月念五日	16.4×12.4	1通	前欠
481	〔田中索我書状〕(府中行途上で本庄屋引請月出を調べること)	九月廿七日	12.4×34.1	1通	封上書「江原広右衛門様 守貫」、裏書あり
482	〔田島文直書状断簡〕(亥十二月晦日の江戸屋代翁の伝言を伝える書状追而書)	八月十八日	16.4×58.8	1通	追而書のみ、前欠

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
483	[田内主税添状]		16.0×24.0	1通	
484	[田内主税書状](赤壁楼(親輔居宅)を題する一首批正依頼,「四書集註差上候」につき)	六ノ廿六	16.1×135.6	1通	
485	[田内主税書状](廣瀬蒙斎の近況, 浴恩園への転居とその居宅の揮毫の依頼など)	(文政2年)十一ノ廿二	15.9×133.9	1通	
486	[田内主税書状](依頼の遅れを詫び茶山の古希の祝いものにつき,『四書集註附功』代金について)	(文化十三年カ)十二月初三	16.7×93.6	1通	端裏書「返事すむ」
487	[田内主税書状](茶山古希の祝につき)	(文化十四年)五月朔日	16.4×169.3	1通	
488	[田内主税書状](文二文才のこと, 栗山門人沢竹のこと, 伊勢長四郎月瀬詩小冊子跋文認方等)	五月朔	15.4×107.8	1通	
489	[田内主税書状](時期により流行する風邪の名前の由来につき)	六月九日	16.1×26.8	1通	奥裏書「田内」
490	[田内主税書状](吉川武助五月上旬訪問につき)	六月望日	15.9×178.7	1通	
491	[田内主税書状](内藤大夫の画賛揮毫の希望を伝う, 和歌批正依頼)	八月廿三日	16.0×51.5	1通	封上書「茶山老先生左右 田内主税拜啓」
492	[田内主税書状断簡](蠣崎波響, 岡本花亭, 立原翠軒の桜花二十首茶山古希を祝う詩につき)	九月廿四日	16.0×97.0	1通	前欠
493	[田内主税書状](舶来書の物理小識, 小赤壁の小集の件, 和歌一首批正依頼)	九月重陽	16.6×90.2	1通	
494	[田内主税書状断簡](文晁の誕生日(九月九日)小宴につき)	十月十七日	16.1×15.7	1通	前欠
495	[田内主税書状](北條霞亭の定府決定につき茶山への気遣う)	初冬念三	16.5×133.3	1通	端裏書「只今すむ詩家アリ」, 別紙漢詩書付(16.6×14.2)あり

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
496	[田内主税書状](養生法につき)	十一月初日	27.7×40.4	1通	
497	[田内主税書状断簡](廣瀬蒙斎の近況つき)	十一月廿二日	16.1×41.1	1通	前欠
498	[田内主税書状](赤壁楼の寄題の依頼, 小島蕉園の隠棲の話など)	十二月廿日	16.7×172.3	1通	端裏書「返事すむ」
499	[田内主税書状](近況報告欲恩園における龍門との小集の件)	十二月未三	16.5×112.6	1通	
500	[田内主税書状](芸州吉川家よりの書簡到来につき, 自作詩歌草稿批正依頼)	神月廿三	16.5×139.6	1通	
501	[田内主税カ書付](文蔵へ催促につき)		15.8×13.3	1通	
502	[田内主税書状](茶山古希を祝う詩につき)	(文化十四年カ)	16.0×61.9	1通	
503	[田辺主計書状](音物につき礼状)	八月十八日	19.4×107.5	1通	封上書「田辺主計」
504	[渡遠兵雅書状](礼状)	四月二十一日	15.3×51.2	1通	
505	[渡辺東作書状](大学序解についての書状天体現象の解釈につき)	五月二日	15.2×58.0	1通	
506	[都筑弥厚書状](縁談に付祝辞の漢詩文の依頼)	臘月十五日	32.8×45.9	1通	
507	[土屋七郎書状](年頭挨拶)	正月十五日	15.5×33.4	1通	染紙(茶)使用
508	[土屋七郎書状](小切唐紙など差し上げ申すにつき, 御近製御認め下されたき旨)	七月廿四日	15.5×63.0	1通	端裏書「言決人 土屋七郎書」
509	[土屋七郎書状](御高作等のことに付き返書)	十一月二十一日	16.5×61.3	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
510	〔土屋七郎書状〕(自身の近況, ならびに茶山弟子たちの動向を伝う)	十二月十四日	30.8×41.1	1通	
511	〔土原欽次書状断簡〕		15.6×26.1	1通	封上書「土原欽次」, 後欠
512	〔島田定右衛門書状〕(病状回復につき近況を伝う)	十一月廿八日	14.8×64.5	1通	
513	〔吉村東里書状〕(寿章呈上の上批正依頼, 文晁門人星野某につき照会)	九月三日	17.2×123.5	1通	封上書「白川御家老吉村又左衛門書東里将監其隱居名也」, 色摺紙使用
514	〔当曾書状〕	十二月十四日	16.5×49.9	1通	
515	〔藤井五郎介書状〕	十一月四日	16.3×68.2	1通	紅葉下絵料紙
516	〔藤井左内・島田定右衛門書状〕	十二月十七日	14.5×57.2	1通	
517	〔藤井升介書状〕(金子受取につき)	二月十八日	16.6×63.0	1通	封上書「茶山菅老先生様 藤井升介」異筆「金子受取入」(24.7×17.2), 端裏書「先生」, 端裏異筆「入用の金子の受取書入置候」
518	〔藤井暮庵書状断簡〕(塾中で同志の人と研鑽を重ねていること等)	四月廿七日	13.0×40.7	1通	前欠
519	〔藤井暮庵書状断簡〕(同志との研鑽および湯治先での様子につき)	四月廿七日	13.0×32.7	1通	前欠
520	〔藤井頼母書状〕(批正依頼)	十一月廿八日	28.8×42.0	1通	奥に和歌3首書付け
521	〔藤井料助書状〕		13.0×32.5	1通	前欠
522	〔藤市兵衛・木村新衛門書状〕(金銭の授受について)	二月十三日	16.1×39.3	1通	封紙「菅太中様 藤市兵衛 木村新衛門」(24.8×18.1)
523	〔日謙書状〕(神辺滞在に対する礼状)	(文化九年)臘月十三日	15.3×56.9	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
524	〔日謙書状〕(茶山門人二名出雲来訪について)	(文政元年)八月望	19.4×28.6	1通	染紙(墨)
525	〔日謙書状〕(神辺訪問予定の連絡)	(文政二年)閏四月七日	15.9×47.8	1通	
526	〔日謙書状〕副啓(文政四年頼山陽の遊舟中詩他の添削を依頼)	(文政四年)正月念九日	25.6×43.4	1通	
527	〔日謙書状〕(茶山八十の祝書と寸志に対する謝辞と贈物への礼状)	(文政十年)	29.0×43.2	1通	
528	〔日謙書状〕(年頭挨拶状)	正月望	29.7×43.5	1通	
529	〔日謙書状〕(頼春敬の寸志の品々につき)	正月廿九日	15.0×11.3	1通	
530	〔日謙書状〕(時候挨拶状)	二月廿九日	29.7×43.6	1通	
531	〔日謙書状〕(西山翁十三回忌につき)	四月三日	16.4×54.3	1通	
532	〔日謙書状〕(茶山詩箋の礼状)	五月十日	29.7×43.0	1通	
533	〔日謙書状〕(近日中の行動の報告『葛原詩話』続編の上木出来候につき)	五月十六日	28.9×42.5	1通	
534	〔日謙書状〕(近況および園山翁肺病につき、面謁の依頼状)	六月十二日	15.8×75.9	1通	
535	〔日謙書状〕(時候挨拶状)	六月望	16.3×18.3	1通	
536	〔日謙書状〕(若狭国よりの荷物到来につき)	六月廿一日	16.3×44.9	1通	封上書「神辺菅太中様侍史御中 福山より道光 謹封」
537	〔日謙書状〕(時候挨拶, 来月初めの来訪を報ず)	七月廿七日	15.9×57.8	1通	



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
538	〔日謙書状〕(面拝依頼を伝う)	八月九日	15.9×49.0	1通	
539	〔日謙書状〕(失火につき)	八月廿一日	29.3×42.5	1通	
540	〔日謙書状〕(近況報告)	九月十二日	15.0×45.1	1通	
541	〔日謙書状〕(時候挨拶, 来月面拝を依頼)	九月十九日	—	1通	封紙「神辺菅茶山先生様侍史下 島口口松江日謙拜 謹封(朱印)」(26.3×37.5)
542	〔日謙書状〕(明倫院主投宿につき)	九月二十日	17.7×44.3	1通	
543	〔日謙書状〕(西山拙斎翁十三回忌につき)	霜月朔日	29.2×43.3	1通	
544	〔日謙書状〕(近況につき報ず)	臘月十二日	15.0×39.8	1通	
545	〔日謙書状〕(金子等拝受)	十二月廿四日	16.0×16.2	1通	
546	〔日謙書状〕(時候挨拶)	廿四日	16.7×47.3	1通	
547	〔日謙書状〕別啓(俵屋善へ下向, かき崎公子よりの絵の事などにつき)		30.0×42.8	1通	
548	〔日謙書状断簡〕		16.7×6.2	1通	摺紙使用, 前欠, 末尾のみ
549	〔内藤角右衛門書状〕(詩作拝領の願い, 寺戸幸蔵治療のための肆之崎へ下向につき)	三月十五日	17.7×130.6	1通	封上書「太仲様用事 角右衛門」
550	〔内藤角右衛門書状〕(礼として真岡綿進上につき)	五月二日	16.2×80.7	1通	封紙「菅太仲様 内藤角右衛門 封」(23.2×34.4)
551	〔内藤角右衛門書状〕(内祝にて餅拝領につき礼状)	五月三日	16.4×69.1	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
552	〔内藤角右衛門書状〕(円川侯, 増山侯の御布等拝見につき)	五月六日	15.4×72.0	1通	封上書「太仲様用事 角右衛門」
553	〔内藤角右衛門書状断簡〕(定信御筆披見の儀などに付き)	五月八日	16.6×51.2	1通	前欠
554	〔内角右衛門書状断簡〕	六月十一日	15.9×10.8	1通	前欠
555	〔内藤角右衛門書状〕(礼物にき御礼状)	六月廿日	16.0×112.8	1通	
556	〔内藤角右衛門書状〕(礼状)	六月廿六日	16.3×41.7	1通	
557	〔内藤角右衛門書状断簡〕(石無心につき)	六月卅日	15.4×74.7	1通	前欠
558	〔内藤角右衛門書状断簡〕	八月廿二日	16.2×40.0	1通	前欠
559	〔内藤角右衛門書状〕(岡本氏江戸廻の便につき)	十一月二日付	16.6×47.6	1通	封上書「菅太中様 内藤角右衛門」, 封紙「菅太中様御台玉机下 内藤角右衛門」(24.4×33.5)
560	〔内藤角右衛門書状〕(広島藩の石井儀右衛門につき報ず)	十一月三日	16.1×77.7	1通	封紙「菅太中様 内藤角右衛門 封」(32.0×13.8)
561	〔内藤角右衛門書状〕(定信御筆披見の儀などに付き書状)	十一月十四日	16.1×71.1	1通	
562	〔内藤角右衛門書状〕(菅太仲の病気見舞そのほかにつき)	十二月朔日	16.8×101.0	1通	
563	〔内藤角右衛門書状〕(病気の際の見舞いに対する礼状)	十二月廿二日	15.9×57.9	1通	(奥上書)「太仲様 角右衛門」, 封紙「菅太仲様 内藤角右衛門」(33.9×24.4)
564	〔内藤教左衛門書状〕(去夏芸州藩布施氏国住願いにつき)	八月十日	17.4×74.3	1通	
565	〔内藤角右衛門書状〕(府中市延藤吉兵衛依頼の書の撰字につき)	正月十三日	16.6×113.9	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
566	〔内藤景充書状〕(詩批正依頼につき)		17.0×46.7	1通	備後名勝箋(鞆の浦)
567	〔南部伯民書状〕	二月廿二日	15.5×52.0	1通	
568	〔頼梅 <sub>三</sub> (風+思)書状〕(山陽の京行き <sub>の</sub> 謝罪等につき)	(文化八年)弥生廿日	16.5×118.4	1通	
569	〔梅 <sub>三</sub> (風+思)書状〕(画賛の延引について)	むつきけふ	31.7×45.4	1通	
570	〔梅 <sub>三</sub> (風+思)書状〕(頭病について)	さ月十七日	15.0×119.1	1通	
571	〔梅 <sub>三</sub> (風+思)書状〕(頼山陽について)	文月四日	14.9×60.9	1通	封紙「菅太中様御奥かた様 頼弥太郎内」(24.2×17.2)
572	〔梅 <sub>三</sub> (風+思)書状〕(久太郎事も無事につき)	卯つき八日	15.8×86.1	1通	
573	〔梅 <sub>三</sub> (風+思)書状〕(頭痛について)		15.8×35.0	1通	
574	〔白口書状〕(揮毫を依頼)	九月二十三日	14.8×56.8	1通	封上書「神奈辺」
575	〔箱田園衛門書状〕	四月朔日	16.3×26.7	1通	菅太中様宛栗原五郎衛門書状包を転用した包紙(25.1×35.0)に同封、覚附属、上書「箱田その右衛門銀子のうけ取」亥四月四日 箱田園衛門(黒丸印)」(16.3×19.8)
576	〔箱田良助書状〕(茶山の無事の帰国を慶し伊豆諸島滞在中の近況を報告)	五月廿三日	15.5×84.4	1通	封紙「備後国神辺駅菅太中先生 箱田左太夫 五月廿三日 従伊豆国八丈島会所」(24.4×33.5)
577	〔箱田良助書状〕(将軍の御位階御用掛に任命された四人の安否を気遣う)	霜月三日	16.3×42.7	1通	
578	〔畑函書カ書状〕(和歌批正依頼)	弥生二日	18.0×83.8	1通	
579	〔八浜屋佳兵衛書状〕(塾御助料に応じる旨回答)	十月十三日	15.9×61.0	1通	封上書「菅御先生様 八浜屋佳兵衛」, 黒丸印「備後福山 神嶋町下市八浜屋」文末に覚を記す

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
580	〔伴蒿蹊書状〕(短冊一件につき書状)	三月五日	28.9×40.5	1通	
581	〔伴蒿蹊書状〕		16.0×23.7	1通	封上書「茶山菅先生 蒿再行」,裏面に茶山が書込み
582	〔半右衛門書状〕(先日本陣にて念入な挨拶,および浜焼鯛一尾到来に付き礼状)	四月十五日	15.8×66.2	1通	封上書「太中様 半右衛門」
583	口上(昨冬の来訪に対する礼)	正月廿二日	17.4×52.9	1通	奉書紙
584	〔尾藤二州書状写〕		16.5×12.3	1通	端裏墨書「尾藤博士」,本文とは異筆
585	〔姫井元淳書状〕	四月廿六日	16.6×56.8	1通	
586	〔姫井元淳書状断簡〕		16.6×7.9	1通	前後欠か,本文「北條先生への書状乍憚御達シ被下候様奉希申候」
587	〔姫井桃源書状〕(恥庵訃報への弔意,「西山拙齋行状」草稿の返却,社倉記についての意見につき)	(寛政十二年)九月廿七日	15.1×104.5	1通	封上書「茶山賢兄 桃源吉」
588	〔姫井桃源書状〕(「西山碑銘」草稿を見たこと,詩稿批正の依頼)	(享和三年)七月十六日	15.3×70.7	1通	封上書「太中様 貞吉」
589	〔姫井桃源書状〕(古賀精里『大学章句纂釈』『大学諸説弁誤』贈呈)	(享和三年)七月十九日	15.4×37.3	1通	封上書「太中様 貞吉」
590	〔姫井桃源書状〕(額字への謝辞,依頼の揮筆,頼山陽の書の感想につき)	(文化六年)正月廿四日	16.0×50.4	1通	
591	〔姫井桃源書状〕(頼春水の来訪「対州筆語」借用の希望,若林朴介の文批正依頼,近作拝見所望につき)	(文化十年)三月廿五日	16.6×66.8	1通	封上書「茶山先生」
592	〔姫井桃源書状〕(学校虫干しにつき,釈菜供物に関する質問への回答)	(文化十年)五月廿八日	15.9×40.2	1通	封上書「茶山詞伯 桃源」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
593	〔姫井桃源書状〕(茶山江戸行について)	(文化十一年)五月廿九日	16.1×40.1	1通	端裏書「茶山老兄」
594	〔姫井桃源書状〕(片岡屋彦助の茶山との面会と書画の仲介のこと)	二月四日	14.3×56.8	1通	封上書「備後神辺駅に向／菅太中様 前岡山／姫井貞吉／用事」裏書「二月四日発」, 開披不能
595	〔姫井桃源書状〕	五月十一日	16.2×123.1	1通	封上書「茶山先生 桃源」
596	〔姫井桃源書状〕	五月十二日	16.0×51.3	1通	
597	〔姫井桃源書状〕(野坂祐吉ほかの入門を依頼)	六月廿八日	17.1×90.9	1通	封上書「茶山兄」
598	〔姫井桃源書状断簡〕		16.6×8.3	1通	前後欠
599	〔姫井桃源書状〕(父親が離別した母親との通交, 墓誌への女子の記載, 「章句」の使用につき)	(日付欠)	16.5×45.3	1通	
600	〔姫井桃源書状断簡〕		17.0×13.6	1通	後欠, 上書「太中様 貞吉」, 料紙に某名所函箋を用いる
601	〔浜新五兵衛書状〕(新茶贈呈のこと)	十月望	15.6×17.8	1通	
602	〔浜新五兵衛書状〕(学問所勤を命じられたこと等の近況報告「菅三様」の成長「北条先生」の安泰を悦ぶ)	正月廿五日	15.7×78.3	1通	
603	〔浜新五兵衛書状断簡〕	十月十四日	15.6×30.2	1通	前欠か
604	〔浜兵大夫書状〕	十二月四日	15.8×67.1	1通	
605	〔布施左仲・布施三郎衛門書状〕	四月七日	16.0×79.4	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
606	〔布施式部書状〕	六月五日	16.4×127.8	1通	
607	〔武元君立書状〕(時候挨拶)	端午後二日	12.7×32.9	1通	
608	〔武元君立書状断簡〕(漢詩批正依頼)	七月念一認	16.2×52.1	1通	前欠
609	〔武元君立書付〕(井上四郎の漢詩批正につき)		16.3×20.0	1通	
610	〔武元登々庵書状〕(書物贈呈につき)	七月廿四日	15.8×92.5	1通	端裏書「登々庵」
611	〔武元与平書状〕(亡父著書「史鑑」につき)	十二月十五日	17.5×48.3	1通	
612	〔風牀書状〕	閏六月七日	15.8×11.7	1通	前欠
613	〔風牀書状断簡〕	六月廿七日	17.2×48.5	1通	前欠
614	〔服部宗侃書状〕(返礼進物を送るにつき)	八月十四日	16.3×56.6	1通	封上書「菅太仲様 函丈 服部宗侃」, 捻封
615	〔服部宗侃書状断簡〕(礼状)	八月廿八日	16.1×41.2	1通	前欠
616	〔福井新九郎書状〕(茶山からの祝詞に対する礼)	二月四日	32.9×46.5	1通	
617	〔福井新九郎書状〕	三月廿六日	33.0×46.4	1通	菅茶山と福井近江介が江戸滞在中の手紙か
618	〔福井新九郎書状〕(町遊草御録示の件及び大神宮参拝にて地震に逢うこと)	九月廿一日	32.6×44.8	1通	
619	〔福春二書状〕(揮毫依頼及び書式のこと, 霞亭君著述嵯峨樵歌上梓のこと)	中秋七日	16.3×105.7	1通	佐藤尽が批正を依頼した漢詩草稿1枚(24.8×6.6)を巻き込む, 漢詩草稿は罫紙を使用

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
620	[平井可大書状]	九月廿三日	16.1×32.7	1通	封上書「菅太中様 当用 平井直蔵」
621	[平井可大書状](礼状と面閲依頼)	十月朔日	16.3×26.6	1通	封上書「菅太中様 当用 平井直蔵」
622	[平井可大書状]		16.6×22.3	1通	封上書「平井直蔵書」
623	[平井直稔書状]	九月廿二日	16.0×20.3	1通	封上書「菅太中様 書拜諸 平井直稔」
624	[平井弥太郎添状](書状を茶山へ届けることを依頼)		16.3×4.3	1通	
625	[平川甚治郎書状]	七月廿二日	15.6×68.7	1通	封紙「神辺菅太中様 西阿知 平川甚治」(36.8×28.5), 刻印あり
626	[平蔵書状](馳走礼状)	五月二日	15.1×19.8	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
627	[平田玉蘊書状](賛を依頼した画を人を遣わずにつき)	初春十五日	16.7×48.7	1通	端裏書「おのみち女画史」
628	[平田玉蘊書状](高眉の描き方について)	閏六月廿日	16.2×58.4	1通	色摺紙使用
629	[平田玉蘊書状](春頃に依頼した賛を画のこのあたりに認めて欲しい)	文月七日	16.4×34.1	1通	
630	[平田玉蘊書状](先方から頼まれていた書の礼状)	新秋念三	15.8×47.3	1通	
631	[平田玉蘊書状](延引していた画賛の依頼, 鞆の浦真景図所持について)	仲冬四日	16.1×49.1	1通	摺紙使用
632	[平田玉蘊書状](依頼された「万歳図」完成につき)	霜月念八日	15.9×39.0	1通	端裏書「女画史」
633	[平田道仙書状](批正および米津府志作成にあたり教示を依頼)	戌三月二十三日	16.3×109.1	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
634	[片岡百左衛門内仮名消息](婚礼相整ことに対する祝意二付)		34.3×46.7	1通	薄奉書紙
635	[豊田忠三郎・木村考安・大戸久三郎・浦上栄吾書状](今般府志(福山志料)落成につき)	文化六年四月十二日	15.0×46.3	1通	
636	[口屋久兵衛書状]	正月口日	15.6×39.2	1通	
637	[北小路大学助書状](石田醒斎より書状到来につき)	九月十五日	15.8×67.8	1通	
638	[北小路大学助書状](年賀)	二月五日	16.0×44.5	1通	薄奉書紙
639	[北小路大学助書状](田中氏帰国二付華筆二握吃置下さるよう依頼)	十一月十八日	16.0×43.7	1通	薄奉書紙
640	[北小路大学助書状](小生先生御筆跡未所持, 此絹地に自作詩一首押毫依頼)		16.2×36.2	1通	薄奉書紙
641	[北村庄介書状](清朝実録催促するも一向返事なし, 差上た料紙に染筆依頼)	六月十九日	16.1×96.5	1通	端裏書「清朝異録事 北村庄介書状」
642	[北村庄介書状断簡](栗山先生清朝実録ご催促につき)	七月廿八日	18.0×66.0	1通	中欠, 封紙(32.0×24.0)あり, 封上書「菅多仲様 従京都北村庄助」「酉年尋出申候書 半安用書 并二酉十月差上候書」「七月廿八日封」, 別筆「白川伝心録」
643	[北條霞亭書状](年末から正月にかけて大雪につき)	正月三日	16.5×81.5	1通	奥に和歌三題, 端裏書「菅」
644	[北條霞亭書状]	正月十五日	16.2×76.2	1通	
645	[北條霞亭書状断簡](批正依頼)	正月廿二日	16.8×26.2	1通	前欠, 奥に和歌二題
646	[北條霞亭書状]	三月晦日	16.0×63.5(28.8+18)	1通	
647	[北條霞亭書状](亀田鵬斎七十二, 近藤重蔵等につき報ず)	三月更日	15.9×70.5	1通	



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
648	〔北條霞亭書状〕(時候挨拶)	四月十九日	13.9×64.5	1通	
649	〔北條霞亭書状断簡〕	四月廿一日	16.2×55.9	1通	前欠
650	〔北條霞亭書状〕(初めて御番入, 近日学問所へも出勤仕るべき等の儀につき書状)	六月二十日	15.4×31.8	1通	
651	〔北條霞亭書状〕	六月廿三日	15.5×76.8	1通	
652	〔北條霞亭書状〕(河村生, 索準, 南部伯民などにつき報ず)	七月十六日	16.2×110.7	1通	
653	〔北條霞亭書状〕	十月廿二日	16.2×61.9	1通	
654	〔北條霞亭書状断簡〕	霜月廿一日	8.2×17.0	1通	前欠
655	〔北條碧山書状〕(御香料御恵贈下さるにつき礼状)	六月十七日	24.2×34.0	1通	
656	〔牧原半陶書状断簡〕(土屋七郎死亡につき, 九月に在所勝手を命じられたこと等につき)	(文化十五年か)二月廿八日	16.9×65.0	1通	前欠
657	〔牧原半陶書状〕(常陸大津浜への外国船到着事件につき)	(文政七年)六月十七日	15.2×52.0	1通	
658	〔牧原半陶書状〕(書状を田内月堂から受取につき, 精里文集が届き古賀精里に金百疋を差し上げたこと, (土屋)七郎が死亡したこと等につき)	二月廿四日	15.9×81.7	1通	端裏「会津牧原只二郎書」
659	〔牧原半陶書状〕(門人の山内熊之助西遊につき辺訪問時の配慮を依頼)	八月十四日	16.4×17.2	1通	
660	〔牧原半陶書状〕(土屋七郎病氣, 精里集抄上木, 古賀精里から進呈につき批正依頼などにつき)	十月初三	14.8×58.4	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
661	〔牧石潭書状〕	四月廿日	17.5×63.7	1通	
662	〔牧野古愚書状〕(添川官平, 野田大治朗の身分照会につき, 知人の近況報告等)	七月廿八日	16.5×173.5	1通	
663	〔牧野古愚書状〕(教堂勤を命じられたこと, 近日帰国につき, その他近況報告)	十月十二日	15.5×103.7	1通	
664	〔堀廉吉書状〕(江戸滞在中茶山と書画を交換につき)	十月五日	30.6×41.5	1通	
665	〔本間蓉溪他連署書状〕(御用の儀があるため, 明日「御屋形」出頭通知)	十二月十四日	31.0×45.5	1通	
666	〔本間蓉溪他連署書状〕(御用につき福山出府の命を伝える)	二月廿六日	15.0×69.6	1通	
667	〔本間蓉溪書状断簡〕(西福寺における桂林様御法事香典につき)	三月五日	14.8×8.9	1通	
668	〔本間蓉溪書状断簡〕	十月十二日	15.9×33.9	1通	前欠
669	〔本庄屋書状〕	四月廿五日	16.0×79.0	1通	
670	〔俣野嘉善書状〕(官便遅延につき, 急遽好便を得たので送る)	六月三日	15.7×20.5	1通	
671	〔俣野嘉善書状〕	十一月十三日	31.3×40.0	1通	
672	〔万空書状〕(茶山の江戸から帰郷, 詩作, 頼春水, 頼山陽, 岡本花亭につき)	文化十二年八月廿五日	31.9×42.3	1通	
673	〔万空書状〕(年始挨拶)	(文化十三年)二月十一日	31.2×41.8	1通	漢詩二首を記す
674	〔万空書状断簡〕	嘉秋廿四日	15.9×28.4	1通	前欠

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
675	〔万空書状〕(茶山帰国後, 京都滞在中に依頼の揮筆を再度願う)	八月廿五日	16.2×65.5	1通	
676	〔万空書状〕(和歌批正依頼)	八月廿九日	16.7×152.4	1通	摺紙料紙, 端裏書「僧万空」
677	〔万空書状〕(詩歌交換, 弟子に書写させるにつき, 東行のとき岡崎に立ち寄りの依頼)	九月廿二日	31.6×41.8	1通	
678	〔万空書状〕(批正の礼状)	十月朔日	17.0×72.0	1通	
679	〔万空添状〕(寿口を鈴木氏に託すにつき)		16.2×16.4	1通	
680	〔万波醒廬書状断簡〕(田原宗純の面談依頼につき)	二月廿四日	16.0×39.0	1通	前欠
681	〔万波醒廬書状〕(田中勝之丞を道中立寄らせるにつき)	六月廿四日	16.1×54.1	1通	
682	〔万波醒廬書状断簡〕	七月九日	16.6×27.2	1通	前欠
683	〔万波醒廬書状断簡〕(立平の出府, 頼春水の墓誌, 書状到来につき)	十月廿六日	16.2×73.2	1通	前欠
684	〔万波醒廬書状〕(吉村氏南殿寄題の儀延引につき)	十一月十九日	15.5×121.9	1通	
685	〔箕浦生民書状〕(箕浦東伯の死去と恵甫が臨終に間に合ったことにつき, 無為の旨を伝う)		15.5×51.7	1括	二通一括, 端裏書「長作君」, 封紙「備後神辺菅長作様 貴下 箕浦生民/豊前長洲より」(24.2×18.5), その他一通附属(15.7×32.0)
686	〔東伯書状〕(茶山への取次依頼)	五月十二日	15.8×23.7	1通	封上書「長作賢兄 梧右 東伯」
687	〔木村齋書状〕(先達て御出府につき, 去冬の御礼申し上げたきところ意外の御無音につき御海容下されたき旨)	九月廿五日	16.3×55.4	1通	墨染紙, 封上書「菅太中様 木村齋」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
688	[木村周安書状](内室疾病につき薬処方問い合わせ)	二月五日	14.6×55.4	1通	
689	[門田堯佐書状](引き続き茶山への取り成しを依頼)	(文化十年)八月十二日	16.7×40.8	1通	封紙上書「菅波武十郎 門田堯佐 要用書 八月廿四日林屋より届来」(17.8×24.7)
690	[菅堯佐書状](学事出精報告,大坂行相談の願い,亡母一周忌で出立につき願い)	三月十五日	16.5×69.6	1通	
691	[柳井順治書状](松山山田屋為五郎願いの事)	九月廿日	16.2×47.5	1通	
692	[宥口書状断簡](茶山が石田梧堂へ贈り物につき)	七月廿八日	15.5×42.8	1通	前欠,色摺紙使用
693	[揚井盛良書状](帰郷した南部伯民から聞いた茶山の近況について)	八月閏五日	17.2×75.6	1通	
694	[柄楊井謙三書状](京都での名家墨蹟収集につき)	中秋念五	17.2×106.5	1通	菱形型押紋の料紙
695	[頼杏坪書状断簡](西山拙翁行状返上せざるにつき)	二月十八日	12.1×22.4	1通	前欠
696	[頼杏坪書状](時候挨拶)	二月廿三日	31.68×43.3	1通	
697	[頼杏坪書状断簡]	七月三日	14.4×38.8	1通	前欠
698	[頼杏坪書状](五月九日の茶山書状に対する返書)	七夕前一日	16.0×44.2	1通	
699	[頼杏坪書状](赤名宿の困窮について西国の干魃について)	七月十一日	14.0×183.8	1通	
700	[頼杏坪書状](春川笠釣図の詩の依頼について)	八月七日	15.5×38.8	1通	封上書「茶山老先賢室 柔」
701	[頼杏坪書状断簡](対馬行の支度について)	十月九日	13.7×49.5	1通	後欠

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
702	〔頼杏坪書状断簡〕(内密の儀)		14.3×24.0	1通	前後欠, 上書「内密」
703	〔頼杏坪・頼佐一郎書状〕(年始挨拶状)	正月十五日	31.3×44.7	1通	
704	〔頼佐一郎書状断簡〕(春水遺稿の件につき)	十月十九日	15.1×71.4	1通	後欠, 封上書「茶山老先生 壽拝後」
705	〔頼佐一郎書状〕(依頼の詩について延引の謝罪)	閏月六日	16.4×55.7	1通	封上書「茶山老先生侍啓 佐一郎拝上」
706	〔頼佐一郎・杏坪書状〕(礼状)	霜月十四日	15.6×44.2	1通	
707	〔頼山陽書状断簡〕(茶山京到着後の近況につき)	三月十八日	16.4×324.7	1通	後欠
708	〔頼山陽書状断簡〕(新宅住所「京車屋町御池上ル西側につき」)	四月二日	15.3×9.2	1通	前欠
709	〔頼山陽書状断簡〕	五月廿一日	15.7×23.6	1通	前後欠
710	〔頼山陽書状断簡〕	五月二十一日	15.7×56.1	1通	前後欠
711	〔頼山陽書状〕(内密の儀につき)	五月廿四日	16.4×194.7	1通	封上書「内密申上 山陽先生」
712	〔頼山陽書状〕(先日国元吉川武助奉呈につき)	五月廿七日	17.6×165.7	1通	端裏書「菅先生」
713	〔頼山陽書状〕	七月十九日	16.5×67.0	1通	端裏書「山陽先生」
714	〔頼山陽書状〕(茶山病気のことにつき)	七月十九日	16.4×57.5	1通	封上書「堯佐様 山陽先生(異筆)」
715	〔頼山陽書状〕	九月十九日	16.6×151.0	1通	封上書「菅太中様 頼久太郎函丈尊巻」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
716	〔頼山陽書状〕(武元君立につき)	十一月十四日	15.8×100.6	1通	端裏書「本書」
717	別啓要用(頼山陽カ書状)	十二月廿四日	15.0×258.5	1通	端裏書「御勝覧」
718	〔頼山陽書状〕	廿四日又拝啓	15.8×49.3	1通	前欠
719	〔頼山陽書状断簡〕(「日本外史」執筆の不首尾につき)		16.1×21.1	1通	前欠
720	再啓(「日本外史」の執筆につき)		15.8×36.0	1通	色摺紙
721	〔頼山陽書状〕(漢詩の批正依頼)		15.8×60.2	1通	色摺紙, 端裏書「書後二律之義二付口伺事」
722	別啓(「日本外史」の執筆につき)		15.9×44.1	1通	色摺紙
723	〔頼山陽カ書状断簡〕		16.6×49.4	1通	前後欠
724	〔頼山陽書状断簡〕		15.8×52.0	1通	後欠, 朱書あり
725	〔頼山陽カ書状〕		15.0×29.8	1通	
726	〔頼山陽書状断簡〕(両替町二條下東側に居住につき)		15.8×56.0	1通	前後欠
727	〔頼山陽カ書状〕		16.4×36.8	1通	
728	〔頼山陽カ書状〕		15.5×34.6	1通	
729	〔頼山陽カ書状〕(時候挨拶)		16.4×15.5	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
730	[頼山陽カ書状断簡](茶山在坂につき)		17.7×38.8	1通	後欠
731	[頼山陽カ書状断簡](頼餘一の後見を頼千齡が行うことにつき)		17.9×47.0	1通	前後欠
732	[頼山陽書状](借金の事)	上巳	15.9×131.5	1通	
733	[頼山陽書状](借金の事)		15.9×43.5	1通	端裏書「山陽先生」
734	申渡之事(頼山陽廉塾行きの際父春水から六ヶ条申渡し)	文化六年己巳十二月	15.1×31.6	1通	
735	[頼春水書状](山陽の同行につき)	(文化七年カ)十月廿八日	16.2×11.7	1通	
736	[頼春水書状](批正依頼および通信使の件問い合わせのこと等につき)	(文化八年)正月四日認	15.5+M744×79.6	1通	
737	[頼春水書状](家督を継がせる倅につき)	正月十二日	16.6×23.7	1通	
738	[頼春水書状](塾生への推薦につき)	正月廿八日	15.8×32.8	1通	端裏書「青之内兵衛門書附ス」
739	[頼春水書状](久太郎のことにつき)	正月廿九日	15.8×76.7	1通	
740	[頼春水書状](山陽の出奔に対する謝罪)	正月廿九日	15.8×27.9	1通	
741	[頼春水書状]	正月[二]日	15.3×53.7	1通	封上書「茶山老盟台 寛拜上」
742	[頼春水書状]	二月六日認	16.8×23.5	1通	封上書「茶山老盟兄 惟完」
743	[頼春水カ書状](久太郎のことにつき)	二月八日	15.9×15.1	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
744	〔頼春水書状〕(長作(万年)の病気見舞い)	二月八日暮時	15.8×72.7	1通	封上書「茶山盟台 寛拝」
745	〔頼春水書状〕(昌平坂学問所の尾藤は引きこもりで現役は古賀のみにつき)	二月十日	16.0×49.5	1通	封上書「茶山盟兄足下 惟完」
746	〔頼春水書状〕	二月十日	16.4×15.3	1通	
747	〔頼春水書状〕(妻について有馬へ滞在したことなど)	二月十二日	14.9×38.5	1通	
748	〔頼春水書状〕(春風出府の件につき)	二月十三日	16.0×106.1	1通	封上書「茶山盟台侍史 惟完」
749	〔頼春水書状〕(柴野栗山, 尾藤二洲は半隠とのことにつき)	二月十八日	16.7×32.9	1通	封上書「茶山盟台 惟完拝」
750	〔頼春水カ書状〕(詩作の不首尾につき)	二月	15.8×12.3	1通	
751	〔頼春水書状〕(大坂篠安道より書到来につき)	後二月	16.6×104.6	1通	封上書「茶山先生 惟完」
752	〔頼春水書状〕(山陽の友との義絶など)	後二月	16.4×21.0	1通	端裏書朱書「春水翁□□□とて金山より見遣越候書ノ写なり」
753	〔頼春水書状〕(「岡元齡墓銘」「岡本豊彦画」「蝦夷ノ図」等につき)	三月十一日	15.8×45.7	1通	
754	〔頼春水書付〕(木村斉同様の人物の貞は卑しきにつき)	三月十三日	16.6×13.9	1通	
755	〔頼春水書状〕	四月朔日	15.9×10.2	1通	
756	〔頼春水書状〕(竹原より江戸へ申遣した事などにつき)	四月三日	15.8×10.1	1通	
757	〔頼春水書状断簡〕(北条霞亭の詩について)	四月四日	16.5×11.5	1通	



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
758	[頼春水書状](一向宗について)	四月四日	16.3×33.3	1通	
759	[頼春水書状](長崎人松浦東溪が上方へ帰る途中で茶山訪問の紹介状)	四月十三日	15.8×14.8	1通	
760	[頼春水漢文書状草稿]	四月二十二日	24.5×17.3	1通	墨(読点)
761	[頼春水書状断簡](面談依頼)	五月朔日燈下	14.6×14.3	1通	前欠
762	[頼春水書状](井上仲八十寿詩につき)		14.9×40.2	1通	封上書「茶山兄台 惟完拜」, 墨書切紙付随(14.8×5.8)
763	[頼春水書状断簡](西山拙斎の行状について)	五月十日認写	16.4×24.1	1通	前欠
764	[頼春水書状](江戸の吉川武助からの書状の内容につき)	五月十二日	15.5×77.2	1通	封上書「茶山盟兄足下 春水完」
765	[頼春水書状](雁皮紙のことにつき)	五月十七日	12.4×51.7	1通	封上書「茶山盟台 惟寛拜」
766	[頼春水書状](楽群館の扁額について)	五月十七日	16.6×6.7	1通	
767	[頼春水書状](「花月吟」の板について)	六月三日認	16.6×44.4	1通	
768	[頼春水書状](京画人は名款につき)	六月廿六日	15.4×65.3	1通	封上書「茶盟台 惟完拜」
769	[頼春水書状](餘一が婦子となること)	七月三日	16.7×41.9	1通	
770	[頼春水書状](「大内談有之候」につき)	七月四日	17.0×12.6	1通	
771	[頼春水書状](柔原某という歌人につき)	七月廿一日	17.0×9.8	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
772	〔頼春水書状〕(入湯願之事等につき)	八月望	17.8×40.5	1通	封上書「七月十一日之返事 文帰詞学之下 春水」
773	〔頼春水書状〕(詩集の序文稿到来につき)	八月十八日	15.8×21.7	1通	
774	〔頼春水書状〕(京都の改名の義につき)	八月十八日	14.2×15.7	1通	後補封筒あり(24.2×10.3), 上書「波響公子」「山陽二関之重要要件二通」
775	〔頼春水書状〕(江戸より京へ向かう途中の近況を伝う)	八月廿四日	14.3×74.0	1通	
776	〔頼春水書状〕(「啓上之修集之巻」につき)	九月朔日	15.0×49.3	1通	
777	〔頼春水書状〕(岡郷佐の紹介状)	九月三日	16.6×13.3	1通	
778	〔頼春水書状〕(「全篇二十巻高妙なもの」につき)	九月十七日	15.9×22.5	1通	
779	〔頼春水書状断簡〕(公儀の学問, 世子の学問のこと, 中井竹山の半身不随のこと)	十月十二日燈下	17.5×41.6	1通	前欠, 色摺紙使用
780	別掲(西山先生碑銘について)	十月十三日	15.8×30.2	1通	
781	〔頼春水書状〕(弟万四郎事につき)	十月廿日	16.4×12.9	1通	
782	〔頼春水書状〕(「くらしく」の碑文作成, 長崎の竹田の作について)	十月廿日	15.8×32.5	1通	端裏書「近書」
783	〔頼春水書状〕(内々の儀につき)	十月廿四日	16.8×12.6	1通	
784	〔頼春水書状断簡〕(尾藤二洲の文は古きにつき)	十月廿八日	16.4×13.4	1通	前欠
785	〔頼春水書状〕	十一月九日朝	16.7×13.5	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
786	〔頼春水書状〕(五山堂詩話について)	十一月十八日	16.0×32.2	1通	
787	〔頼春水書状〕(石刻料につき)	十二月三日	15.3×14.2	1通	
788	〔頼春水書状断簡〕(頼熊助, 高藤権之助, 内蔵之丞, 柴野栗山の近況, 米屋忠右衛門本郷失火の事)	十二月十四日	16.8×47.4	1通	前欠
789	〔頼春水書状〕(竹原加藤家に投宿のこと)	十二月十五日	17.9×51.3	1通	
790	〔頼春水書状〕(当主人は尊大につき)	十二月十七日	15.6×25.1	1通	
791	〔頼春水書状〕(茶山への姪からの頼み事につき)	十二月廿五日	15.8×15.3	1通	
792	〔頼春水書状〕(尾道へ長持を送るにつき)	十二月廿六日夜	16.7×11.8	1通	
793	〔頼春水書状〕(倉敷千右衛門の彫刻がなったことにつき)	(二)月十三日書加	15.0×21.2	1通	
794	〔頼春水書状〕(「在津記事」「尊集之板」小倉藩儒者古賀と唱和のこと等条々につき)	十七日	15.6×91.6	1通	
795	〔頼春水書状〕(久太郎がうまれぬ時の詩稿が本の間から見つかるにつき)	廿六日夜	16.6×26.8	1通	
796	〔頼春水書状断簡〕		16.3×15.2	1通	前欠
797	〔頼春水書状〕		15.8×23.4	1通	
798	別啓		16.5×13.4	1通	
799	〔頼春水カ書状断簡〕		15.8×11.4, 5.3	1通	中欠

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
800	[頼春水書状](芸遊日記につき)		16.5×27.5	1通	
801	[頼春水書状](内藤大夫の杜鵑花の作について)		15.9×15.1	1通	
802	[頼春水書状]		16.0×31.7	1通	封上書「茶山老盟兄 惟完拝」
803	[頼春水書状断簡](近況の報告)		16.8×47.7	1通	後欠, 封上書「菅太中様 頼弥太郎」
804	[頼春水書状](豫州東屋又右衛門の母の手織添状)		30.0×40.6	1通	
805	[頼春水書状](一宿の礼状)		14.6×23.6	1通	
806	[頼春水書状](病床に伏すにつき)		15.2×46.5	1通	封上書「茶山老盟兄 寛拝」
807	[頼春水書状断簡]		16.8×44.3	1通	後欠, 封上書「茶山盟台 惟完拝」
808	[頼春水書状断簡](小西某の碑題について)		17.9×32.6	1通	後欠, 上書「夕陽村舎兄足下 和亭」
809	[頼春水返書](八画家を学ぶにつき)		15.0×7.4	1通	茶山書状に朱字書込み返書
810	[頼春水返書](返書につき)		15.1×15.0	1通	茶山書状に朱字書込み返書
811	[頼春水書状断簡](頼徳太郎の事, 新宅へ移る事等)		15.3×45.6	1通	前後欠
812	[頼春水書状](『権記』『葦記』等書籍の事)		15.7×28.4	1通	前欠
813	[頼春水書状](長崎渡辺忠蔵のことにつき)		16.0×17.6	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
814	[頼春水書状断簡](「こめの花」のことにつき)		16.6×23.6	1通	前欠
815	副啓(濁右衛門先年相尋候役の返事)		14.9×17.8	1通	封上書「副啓」
816	[頼春水添状](石工よりの依頼の内容について)		16.8×6.0	1通	
817	[頼春水書状断簡](『舞水集』かしよみにつき)		13.9×11.0	1通	前欠
818	[頼春水書状](尊荊・拙荊との呼称について尾藤妻は私の妹北條先生と話すにつき)		16.3×10.8	1通	
819	[頼春水書状](京の不肖子につき)		14.9×11.3	1通	
820	[頼春水書状](白河侯より, 礼松廊への和歌につき)		14.8×8.6	1通	
821	[頼春水書状](漢詩批正依頼)		12.6×22.3	1通	
822	[頼春水書状](茶山宅に毛利讃岐守訪問につき)		15.0×30.5	1通	
823	[頼春水書状](吾友午庵の工夫について)		17.8×10.4	1通	
824	[頼春水書状](尾藤の妻は私妻の姉につき)		15.8×5.0	1通	
825	[頼春水書状](竹原のことにつき)		15.9×9.4	1通	
826	[頼春水書状断簡](廉塾への推薦)		15.5×27.8	1通	後欠
827	[頼春水書状](山陽出奔につき)		16.8×52.1	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
828	[頼春水書状] (「江海之事」「朝鮮人が瀬戸内を瀬と被申候」につき)		15.5×34.5	1通	
829	[頼春水書状] (師友志について)		14.8×19.8	1通	
830	[頼春水書状] (学者漢詩の読み方について)		16.6×20.3	1通	
831	[頼春水書状] (「親目秘事」「別事」につき)		13.7×53.1	1通	封上書「親目秘事」
832	[頼春水書状断簡] (万四郎倅佐一郎の嫁取りの話)		15.9×44.2	1通	前後欠
833	[頼春水書状] (「親目」につき)		16.5×19.7	1通	
834	[頼春水書状] (覚 拙文一通書写につき)		16.6×14.0	1通	
835	[頼春水書状断簡]		15.8×31.3	1通	
836	[頼春水書状断簡]		16.1×42.0	1通	前後欠
837	[頼春水書状断簡]		16.0×32.1	1通	後欠
838	[頼春水書状] (林家と古賀へ漢詩を送るにつき)		15.9×17.5	1通	
839	[頼春水書状] (倅の躰けににつき)		16.7×16.1	1通	
840	[頼春水書状] (田内の「月の詩」につき)		15.8×24.0	1通	
841	[頼春水書状] (西山拙齋が教示の烈公時代の事につき)		15.9×15.3	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
842	[頼春水書状](古賀, 尾藤の作詩につき)		16.6×7.2	1通	
843	[頼春水書状断簡]		13.0×7.8	1通	後欠,「去月十三日八高祖妣の忌辰二候故竹原二て八寺参り」
844	[頼春水書状](備前の地名の由来につき)		15.8×16.8	1通	
845	[頼春水書状](先年大坂在住の模様)		16.7×16.4	1通	
846	[頼春水書状]		16.1×6.9	1通	
847	[頼春水書状](木村斎漢詩草稿到来につき)		16.7×8.6	1通	
848	[頼春水書付](「玉堂子」の画到来につき)		16.6×6.0	1通	
849	[頼春水書付](「阿州御門生」「錦石」につき)		16.5×6.5	1通	
850	[頼春水書状](朝鮮の事につき)		15.7×23.7	1通	端裏書「五」
851	[頼春水書状](倉敷呈上の墓銘, 西山拙斎の行状につき)		16.5×13.8	1通	
852	[頼春水書状](山陽の疾病について)		17.8×24.1	1通	
853	[頼春水書状]		15.9×6.7	1通	
854	[頼春水書状](桜木培養につき)		16.5×42.0	1通	
855	[頼春水書状]		16.4×9.5	1通	

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
856	[頼春水書状]		15.8×42.3	1通	
857	[頼春水書状]		15.8×58.3	1通	端裏書「一」
858	[頼春水書状](頼山陽の京における表札につき)		15.8×136.8	1通	端裏書「二」, 朱書「此書ハ篠崎長左衛門ハ可遣認候共文段アシク別ニ一書ヲ作り候, 左申此話被成候事一度御覧可被下候, 有為候, 御返事ニ不及候」
859	[頼春水書状]		15.9×40.0	1通	
860	[頼春水書状断簡](尾藤二洲文, 篠崎小竹跋について)		15.4×10.0	1通	前欠
861	[頼春風書状](年頭挨拶)	正月十五日	32.8×46.5	1通	封紙「神辺菅太中様絳帳下 頼千齡ノ竹原」(32.5×24.7)
862	[頼春風書状断簡](元日の五律の高作についての礼)	正月廿八日	16.5×24.3	1通	前欠
863	[頼春風書状](山陽の引き受けに対する感謝)	二月八日	15.0×54.1	1通	
864	[頼春風書状](祝詞に対する礼状)	二月十六日	15.1×42.7	1通	封上書「茶山先生 惟彊拜上」
865	[頼春風書状](山陽の京行きへの謝罪の内容)	二月十六日燈下	15.9×46.9	1通	
866	[頼春風書状](金子を吉和伝蔵に相託すにつき)	二月廿八日	14.6×48.8	1通	
867	[頼春風書状](頼久太郎について)	二月廿九日	14.9×34.3	1通	封上書「拜稟 惟彊」
868	[頼春風書状断簡](万四郎のことにつき)	閏三月八日	15.0×42.1	1通	前欠
869	[頼春風書状](佐々木大次, 尾道油屋につき)	三月廿日	16.6×58.8	1通	



指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
870	[頼春風書状](吹屋石碑について)	四月二日	15.5×52.4	1通	
871	[頼春風書状](府志之事未脱稿の拙詩について)	五月廿日	14.5×63.4	1通	
872	[頼春風書状](山陽の事について)	五月廿四日	14.6×85.8	1通	封上書「茶山老先生函丈 内用 惟疆拝上」
873	[頼春風書状](硝子徳利頂戴につき礼状)	六月三日	33.8×46.7	1通	
874	[頼春風書状](古賀先生「対州筆語」一冊につき)	六月十八日	17.8×43.8	1通	
875	[頼春風書状](石州へ湯治の件)	七月拾五日	15.5×64.3	1通	端裏書「頼千齡」
876	[頼春風書状](京都での近況, 燿村と申す画工の画風について)	七月朔	14.4×42.4	1通	端裏書「茶山老先生侍史 頼惟疆拝」
877	[頼春風書状](「赤松子二託し申上候」につき)	閏八月廿九日	14.5×30.3	1通	封上書「茶山老先生 疆拝具」
878	[頼春風書状](中秋の佳作について)	十月十九日	16.8×74.8	1通	
879	[頼春風カ書状断簡](薩侯手栽松之作)につき)	十月廿七日朝認	16.6×57.8	1通	前後欠
880	[頼春風書状](江戸での近況について)	十一月口(十)二日	16.1×64.8	1通	封紙「備後神辺駅菅太中様 無実帳下 頼千齡/従竹原(32.5×23.5)」
881	[頼春風書状](西山寿詩の代筆の件)	十二月十日	17.0×56.0	1通	
882	[頼春風書状](天台山図記について辛島より)	十二月十八日	16.1×56.9	1通	
883	[頼春風書状]		15.0×5.6	1通	2枚一括, 1)15.0×5.1, 2)15.0×5.6, 朱書, 雷文色摺封筒(17.0×5.2)「備後神菅太中様 拝文候 頼千弥/芸州竹原」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
884	〔頼春風書状〕(広島においての久太郎のこと, 伴熊吉のことで弥太郎養子となる件, 万四郎の江戸奥詰昇格のこと, 弥太郎の江戸での動き等につき)		16.5×59.7	1通	
885	〔頼春風書状断簡〕(金十両利銀を久太郎分とてくださるにつき)		15.0×37.0	1通	
886	〔頼春風書状〕(竹田詩話の評価など)		14.6×23.1	1通	
887	〔頼春風書状断簡〕(西山拙斎碑の不出来, 石質・彫工の技量について)		14.6×34.4	1通	前欠
888	〔頼春風カ書状〕(「享余一■(旅+肉)」のことについて)		16.2×19.8	1通	
889	〔落合敬介書状〕(年賀, 杏坪翁長崎におこし, 北條君も御帰着承)	正月十三日	15.7×66.8	1通	色紙(浅葱・薄茶)
890	〔蘭水書状〕(御花数頂戴につき礼状)	五月五日	14.2×20.4	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
891	〔梨木上総介書状〕(七日に京着, 立花実落手, 小沢氏歌拜見, 愚息短冊おみせするにつき)	四月廿九日	15.0×49.8	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
892	〔立原翠軒書状〕(城中祇候につき)	(文化元年)五月十六日	15.4×23.9	1通	封上書「菅多仲様 立原翠拝」
893	〔立原翠軒書状〕	二月十一日	14.5×45.5	1通	封上書「菅茶山先生 翠軒」
894	〔立原翠軒書状添状〕(返状)	二月十五日	14.5×12.2	1通	
895	〔立蔵書状〕	三月四日	15.4×44.8	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
896	〔某料助書付〕		15.9×14.5	1通	封上書「老先生様 料助」
897	〔鈴木秀満書状断簡〕(前欠和歌二首の批正依頼につき)	八月十四日	16.3×23.4	1通	前欠
898	〔鈴木秀満書状〕(拙紙拙筆の批正依頼に付き)	十一日	15.3×20.0	1通	
899	〔鈴木秀満書状〕(礼状)		16.5×31.5	1通	
900	〔鈴木圭輔書状〕(勧進に際し, 書画を送る件に付)	五月十八日	15.1×115.5	1通	
901	〔鈴木敬蔵書状断簡〕(漢詩批正依頼)		18.1×15.5	1通	前後欠, (裏書)「二本松儒官鈴木敬蔵」
902	〔鈴木研山書状〕(時候挨拶, 面謁を依頼す)	四月十五日	34.0×45.4	1通	
903	〔鈴木田守カ書状〕(十三日の祝儀につき麻の上下着用にて登城の件)	九月十日	14.3×53.8	1通	染紙
904	〔鈴木芙蓉書状〕(茶山江戸滞在中, 自邸訪問の礼状)	文化十二年二月十日	16.2×93.3	1通	封上書「茶山老先生 木雍拝後」
905	〔廉口添状〕	廿二日	15.8×15.9	1通	
906	〔昴口書状〕(春風のこと, 肥後熊本城下の洪水等のことについて)	九月三日カ	15.5×24.2	1通	封上書「奉呈 菅先生 梧下 昴口拝」, 朱書あり, 裏書あり
907	〔柝屋清衛門書状断簡〕	正月五日	15.3×110.4	1通	前欠
908	〔葆真書状并六言詩〕(批正依頼)	四月七日	24.0×34.3	1通	詩奥書「右在廉塾台懷茶山先生賦而呈令嗣楚口老契, 葆真拝」, 批正依頼

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
909	〔蠣崎波響書状〕(波響楼落成の件, 奥州梁川への転封の件, 六如上人詩稿一軸, 近作下付依頼など)	(文化七年)午十二月三日	16.0×127.7	1通	染紙(黄・藍・薄紅・浅葱)・袖裏書「茶山先生」
910	〔蠣崎波響書状〕(年賀)	正月五日	32.4×44.2	1通	奉書紙
911	〔蠣崎波響書状〕(圭亭と申医者に黄葉村舎の様子責問う件, 京都の景光, 四五十年前からの衰微等につき)	卯三月二日	16.6×107.3	1通	色摺下絵料紙, 封上書「茶山老先生尊史下」
912	〔蠣崎波響礼状〕	初秋念(七月二十日)	17.7×28.7	1通	杉原紙, 封上書「菅礼卿先生 源広年拜」
913	〔蠣崎波響礼状〕(御詠歌御作共拝見仕候所感拝せしことへの礼状)	九月廿九日	16.1×67.3	1通	奉書紙
914	〔蠣崎波響書状〕(二幅対絵画執筆, 病気のため遅延の由)	九月廿九日	16.1×89.4	1通	奉書紙
915	〔蠣崎波響書状〕(今般詠歌染筆, 御詩作染筆(絹地一幅)に対する礼状)	九月廿九日	16.1×45.1	1通	奉書紙, 折紙綴
916	〔蠣崎波響書状〕(明日茶山発輿, 今回の再会奇遇, 上人詩軸の件ほか)	十月十二日	16.1×60.5	1通	浅葱染紙, 封上書「菅太中様 蠣崎将監」
917	〔蠣崎波響書状〕(書斎新築につき, 寄題御作一首作成依頼)		16.2×17.9	1通	雁皮紙
918	〔蠣崎波響書状〕(詩の批正依頼)		16.1×9.9	1通	雁皮紙
919	〔蠣崎波響書状断簡〕(出立につき)		15.7×11.7	1通	後欠, 上書「阿部様御中邸北條讓四郎様 □□に而出立いたし候 松前邸蠣崎将監」
920	〔體円書状〕(挨拶状)	壬二月廿一日	15.6×68.7	1通	
921	〔昂松書状〕(小田宗郁氏当地逗留, 医家松田家は入家となりし事)	五月廿三日	14.2×23.8	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
922	〔某書状〕(福原滞留にて、松井子■(王+路)に託した詩歌につき)	(安永八年カ)五月二日	15.8×231.5	1通	
923	〔某書状〕(北條霞亭死去につき)	文政六年九月廿三日	33.0×45.7	1通	差出人部分切り取り
924	〔某書状〕(茶山八十歳の祝宴と画について)	(文政十年)	17.6×67.2	1通	
925	〔某書状〕(教所二所相談、病氣見舞)	朧月廿七日	14.3×29.1	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
926	〔某口長書状〕(色々のもの好物のこと, 諸事承りにつき)	三月三日	16.3×32.3	1通	封上書「菅太中様 □□長」
927	〔某昌書状〕(入門願い)	閏八月八日	29.3×38.5	1通	
928	〔某書状〕(恥庵十三回忌)	八月廿七日	15.1×120.5	1通	
929	〔某書状〕	十二月廿五日	17.3×89.5	1通	
930	〔某書状〕(三月に龍泉寺への花見に際して詠じた歌を緒目にかける)	三日晩認	15.9×48.9	1通	書状類62号・208号・356号・377号・392号・411号・464号・626号・890号・891号・895号, 921号, 925号, 930号, 文書・記録類308号, 615号, 617号, 618号, 619号卷子装一括,
931	〔某書状下書〕		24.5×34.0	1通	
932	〔某書状〕(時候挨拶, 白雲の富士絶頂ノ図, 文泉氏ノ松島などにつき)		16.1×73.0	1通	
933	〔某書状〕(自称寺祈祷御用筋並びに長崎異船入津兵備多端のこと)		16.1×27.3	1通	
934	〔某書状断簡〕(三月下旬四月上旬に出府につき)		18.2×29.7	1通	前欠, (裏書)「申十一月改 入用書 西山一 大原二 頼等 斎藤大原」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
935	〔某書状断簡〕(笠岡からの来訪者について)		14.8×81.9	1通	後欠, 上書「長さくとの 用事 □□」
936	別啓(薩人漂流記事について)		23.1×46.3	1通	
937	〔某書状〕	梅月晦	15.1×85.8	1通	端裏書「茶山先生」
938	追(批正依頼)		16.0×26.2	1通	端裏書「批□御免可被下候」, 追手書, 文中に朱書あり
939	〔某書状〕(西大寺行に付手紙を託すにつき)		11.9×26.3	1通	